

# 大学オンライン 番組ライブラリー

<https://www.nhk-ep.co.jp/daigakutv>

## 利用の手引き **2026 春版**

何を見ていいかわからない、という声にお応えして、22のテーマを選んで番組を紹介する冊子を作成しました。授業内容をより理解するために、レポートの題材探しに、一般教養を深めるために、どうぞ活用ください。

# INDEX

1 AIとロボットが変える世界	1
2 フロンティア=最前線に立つ	3
3 映像はウソをつく!?	5
4 SNSの功罪 溢れる「情報」 失われる何か	8
5 気候変動について学ぼう	10
6 地球に生きる者たち ワイルドライフ	12
7 生命の「進化」を考えよう 「ヒト」って何?	15
8 人体の不思議を学ぼう	19
9 コロナ・伝染病と人類について考えよう	21
10 数理の好奇心を極める	23
11 「お金」って何? 「資本主義」ってどうよ	26
12 揺らぐ「民主主義」	28
13 世界秩序と「グローバル化」	31
14 スーパーパワー アメリカの大統領たち	34
15 イスラム教って何?	36
16 移民と難民について考えてみよう	38
17 「昭和」を知っていますか (1)日本の戦争	40
18 「昭和」を知っていますか (2)戦後の経済成長	44
19 無名の挑戦者たち	48
20 患者に寄り添う「医」の心	51
21 自分自身を見つめる	54
22 恋に悩む若者たちよ	57

# 01. AIとロボットが変える世界

## 自律的なAIが人類を超える知性を持つことはあるのでしょうか？

その仮説では“シンギュラリティ”が訪れるのは「2045年」も言われています。その時、人類社会の有様を変える大きな変化が起きると予想されています。そして、私たちの身近なところでも、ChatGptに代表される生成AIの進化が、社会に生活に大きな影響を与えています。

そのAIがロボットに搭載されたら？ 人間を超える能力を持つロボットに“人間並み”の知性＝AIが搭載されれば、無敵の“超人類”が誕生するのでは？？

“未来”、いや“近未来”の話と考えていた変化が、すぐそこに来ているのかもしれませんが。このライブラリーでは、AIとロボットが「今どうなっているのか」、その一端を垣間見ることのできる番組をラインアップしました。

インタビューに答えてくれるAI搭載のロボット。生成AIが作るマンガのストーリー。AIが判断し、人を傷つけるための攻撃を実施する兵器たち…。

AIもロボットも“機械”なのかもしれませんが、自ら判断し、自ら行動する「自律型」の存在として私たちの目の前に現れているのです。AIとロボットがどうやって生み出されてきたのか。そして私たちはどう向き合えばいいのか。その技術を使いこなせるのか、それとも支配されてしまうのか？今、そこにある“未来”を、番組を通じて感じとってください。

### フロンティア

## AI 究極の知能への挑戦



人間の知能に匹敵する“究極の人工知能”の開発が世界中で進んでいる。最新型AIロボットとのAIの可能性についての対話や、AIが漫画の神様・手塚治虫の「ブラック・ジャック」の新作を“創作”する現場を紹介、最先端のその先に人間の知能の驚くべき本質が見えてくる。

### BS世界のドキュメンタリー

## フラッシュ・ウォー 自律型致死兵器システムの悪夢



ウクライナの戦場にはAIに制御される自爆型ドローンが投入されている。AIが判断して攻撃する「自律型」の兵器は、人間の尊厳を無視した方法での攻撃もためらわない。それが世界中に配備された時、誰も望まない戦争（フラッシュ・ウォー）が起きる懸念も指摘されている。AIがもたらした「軍事革命」。そのすさまじいスピードと実態を追う。

### フランケンシュタインの誘惑 E+

## 超人類 ヒトか？ 機械か？



いま、機械と人間の融合によって人間の力を超えた「超人類」が生まれようとしている！ 20世紀に本格化するロボット開発は、人間と機械の融合＝サイボーグ研究へと進み、ついに人間の脳と不死身のボディーをもつ“超人類”を目指すまでになった。その目的は「戦争」、そして「不老不死」。「超人類」が生まれる日、果たしてそれはヒトなのか？機械なのか？

## 1 AIとロボットが変える世界

### 2 フロンティア＝最前線に立つ

### 3 映像はウソをつく!?

### 4 SNSの功罪

溢れる「情報」 失われる何か

### 5 気候変動について学ぼう

### 6 地球に生きる者たち

ワイルドライフ

### 7 生命の「進化」を考えよう

「ヒト」って何？

### 8 人体の不思議を学ぼう

### 9 コロナ・伝染病と

人類について考えよう

### 10 数理の好奇心を極める

### 11 「お金」って何？

「資本主義」ってどうよ

### 12 揺らぐ「民主主義」

### 13 世界秩序と「グローバル化」

### 14 スーパーパワー

アメリカの大統領たち

### 15 イスラム教って何？

### 16 移民と難民について考えてみよう

### 17 「昭和」を知っていますか

(1)日本の戦争

### 18 「昭和」を知っていますか

(2)戦後の経済成長

### 19 無名の挑戦者たち

### 20 患者に寄り添う「医」の心

### 21 自分自身を見つめる

### 22 恋に悩む若者たちよ

## あなたの顔は大丈夫？ 最先端“顔認証システム”が危うい



監視カメラが犯罪摘発に効果をあげている。しかしその映像で今あなたがどこにいるか特定されるとしたら？インターネットやSNSの写真から「顔」情報を集め、AIが分析しデータベースを構築、瞬時に「誰か」を特定するシステムも動き出している。本人の同意なく「顔」情報が集められている？あなたはその危険性に気付いている？世界で急速に進む「顔」情報を巡る“怖い”最前線をドキュメント。

## 嘘やヘイトもカネになる ネット自動広告取引の闇



インターネットを見ると表示される広告。でも、なぜこの広告があなたのスマホに出て来るのか、その仕組みを知っていますか？ 偽情報やヘイトスピーチを発信するサイトに、世界的な有名ブランドの広告が掲載される事態が起きた。ところが広告主も「どんなサイトに広告が出るのか」把握しきれないという。プラットフォームの対策は十分なのか？巨大な規模となったネット広告の“闇”に迫る。

## 第4回 私とあなたの間にある倫理



第4回のテーマは「倫理」。ロボットは意思を持つのか。仮想空間で永遠に生きられるか。デジタルテクノロジーに心を支配され、機械と人間の境界が危うくなる時代の、切実な倫理の問題とは？ 現代社会に広がる心の病、現代人の心と脳の関係性を解くヒントを哲学しよう。

## 1 AIとロボットが変える世界

- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう

6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何？

## 8 人体の不思議を学ぼう

9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう

## 10 数理の好奇心を極める

11 「お金」って何？  
「資本主義」ってどうよ

## 12 揺らぐ「民主主義」

## 13 世界秩序と「グローバル化」

14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち

## 15 イスラム教って何？

## 16 移民と難民について考えてみよう

17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長

## 19 無名の挑戦者たち

## 20 患者に寄り添う「医」の心

## 21 自分自身を見つめる

## 22 恋に悩む若者たちよ

# 02. フロンティア = 最前線に立つ

科学・研究の最前線＝フロンティアに立つと、何がわかるのでしょうか。  
何が生み出されようとしているのか、そして何が生み出されてきたのでしょうか。

今、フロンティアに立つ研究者、そしてフロンティアを切り開いてきた科学技術の歴史を紐解く6本の番組をラインアップしました。

「フロンティア」。“最先端を切りひらく者にしか、見えない景色がある”というコメントで始まります。日本人のルーツ、AI、東洋医学、そして21世紀の日本に誕生した新しい火山島、それぞれ現代の科学が挑む最前線の研究を追います。

「フランケンシュタインの誘惑E+」。科学技術が生み出したもの、その功罪を描く科学史ドキュメントです。2022年、アカデミー賞7部門を受賞した映画「オッペンハイマー」に描かれる原爆の開発を指揮した科学者たちの“罪と罰”を追った「原爆誕生」、そして現代のロボットとAIの融合につながる“サイボーグ”誕生の歴史をたどります。

どの番組も、フロンティアに立つ研究者の情熱や関心の赴く先が、研究者自身のことばで語られています。研究に情熱を注ぐのは科学者という人間です。業績を見るだけでなく、そこに至るモチベーションや達成感こそが、フロンティアに向かうエネルギーです。

研究者を目指す人、科学技術に関心を持つ皆さんも、時空を超えて広がるフロンティア＝最前線に立ってみてください。

## フロンティア

### 日本人とは何者なのか



私たち日本人のルーツは？ そのカギを握るのは発掘された古代人の骨。そこから抽出されたDNAを解析することで大量の情報を読み出すことが可能になり、新発見が相次いでいる。アフリカで誕生した人類が日本に到達し、日本列島に独自の文化を生み出してゆくまで、数万年の長い道程を、最先端の科学技術が解き明かす。

## フロンティア

### AI 究極の知能への挑戦



人間の知能に匹敵する“究極の人工知能”の開発が世界中で進んでいる。最新型AIロボットとのAIの可能性についての対話や、AIが漫画の神様・手塚治虫の「ブラック・ジャック」の新作を“創作”する現場を紹介、最先端のその先に人間の知能の驚くべき本質が見えてくる。

1 AIとロボットが変える世界

2 フロンティア＝最前線に立つ

3 映像はウソをつく!?

4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か

5 気候変動について学ぼう

6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ

7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何？

8 人体の不思議を学ぼう

9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう

10 数理の好奇心を極める

11 「お金」って何？  
「資本主義」ってどうよ

12 揺らぐ「民主主義」

13 世界秩序と「グローバル化」

14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち

15 イスラム教って何？

16 移民と難民について考えてみよう

17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争

18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長

19 無名の挑戦者たち

20 患者に寄り添う「医」の心

21 自分自身を見つめる

22 恋に悩む若者たちよ

## 東洋医学とは何か



鍼(はり)、お灸(きゅう)、そして漢方薬。今、世界が注目する東洋医学。治療の効果がなぜ生まれるのか、そのメカニズムも明らかになってきた。人類が数万年以上をかけ、育んできた経験に基づく医療、東洋医学。時空を超えてその最前線を訪ねてみると、そこは驚きの連続が！

## 進化する西之島 未知の大地への挑戦



東京都心からおよそ1000キロ、小笠原諸島にある無人の火山島、西之島。2013年からの噴火で溶岩流が堆積して“成長”した新しい陸地だ。火山活動が続く中で生き物たちはどう生きているのか？島はどう姿を変えて行くのか？ 人類が初めて見る“生まれたての島”で何が起きているのか、原始の大地の姿を目撃しよう。

## 原爆誕生 科学者たちの“罪と罰”



「原爆の父」ロバート・オッペンハイマー。第2次世界大戦中、原子爆弾の開発プロジェクト“マンハッタン計画”のリーダーだ。ナチスドイツに先を越されないために始まった原爆開発が、なぜドイツ降伏後も続けられ、広島・長崎に投下されたのか？科学者たちは何を考え、行動したのか？核兵器開発に携わった科学者たちの「罪と罰」に迫る。

## 超人類 ヒトか？ 機械か？



いま、機械と人間の融合によって人間の力を超えた「超人類」が生まれようとしている！20世紀に本格化するロボット開発は、人間と機械の融合＝サイボーグ研究へと進み、ついに人間の脳と不死身のボディーをもつ“超人類”を目指すまでになった。その目的は「戦争」、そして「不老不死」。「超人類」が生まれる日、果たしてそれはヒトなのか？機械なのか？

1 AIとロボットが変える世界

2 フロンティア=最前線に立つ

3 映像はウソをつく!?

4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か

5 気候変動について学ぼう

6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ

7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何？

8 人体の不思議を学ぼう

9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう

10 数理の好奇心を極める

11 「お金」って何？  
「資本主義」ってどうよ

12 揺らぐ「民主主義」

13 世界秩序と「グローバル化」

14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち

15 イスラム教って何？

16 移民と難民について考えてみよう

17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争

18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長

19 無名の挑戦者たち

20 患者に寄り添う「医」の心

21 自分自身を見つめる

22 恋に悩む若者たちよ

# 03. 映像はウソをつく!?

みなさんは毎日のようにSNSを使っていることと思います。十年ほど前はテキストが中心だったSNSですが、写真や動画が投稿されるようになり、さらに写真や動画に特化したSNSがぐんぐんシェアを伸ばしています。検索にGoogleを使う若者は減り、TikTokやPinterest、Instagramなど、写真や動画が中心のサイトが使われる機会が増えています。私たちの生活は映像であふれています。

写真やフィルムが発明される前から、宗教家や政治家は自らの権威づけのために映像を活用してきました。20世紀は映像の世紀。映像は巧妙なストーリーテリングを施され、宣伝戦、心理戦に使われていきました。

第二次世界大戦では心理戦が大きな役割を果たしました。味方を鼓舞し、占領地の人々を宣撫し、敵を挫く。映像の使い方は巧妙になっていきます。戦後も東西冷戦下で秘密と嘘、猜疑の時代が続きました。

2022年2月、ロシアがウクライナに侵入。まもなく、ウクライナ・ゼレンスキー大統領が、自国兵士に向かって、武器を置くよう呼びかける映像がネット上で流れ、まもなく削除されました。これは実は、本人の声色に似せた発声に合わせて、リップシンクロさせた、AIが生成した精巧なCG映像でした。こうした「ディープ・フェイク」映像は、今日の技術で簡単にでっちあげることができます。

ロシアがウクライナに侵攻すると、市民たちは自撮りも含めて大量の映像をSNSに投稿しました。誰もが撮影し投稿できる時代。家族との別れ、戦場に赴く肉親へのいたわり、苦境の中で小さな日常にひそかな楽しみを見出す日々…同時代に生きる私たちは、戦争のリアリティを市民たちが投稿した映像によって実感することができます。

一方、生成AIの出現で、コーディングやイラストのスキルがなくても、AIを使って簡単に静止画や動画を作れるようになり、誰でもがクリエイティブな世界にアクセス時代が到来しています。「映像がウソをつく」ことを周知でアートの世界に遊ぶのです。現実と虚構の境目はますますぼやけています。

インターネット、スマホ、SNSの時代を生きる我々には、映像のウソを見破る力が必要です。メディア・リテラシー、映像リテラシーは生き残るために大切です。映像の巨大なパワーに飲み込まれないように。映像の力で世の中をより良く変えていけるように。

## BS世界のドキュメンタリー

### プロパガンダ ウソを売る技術



「プロパガンダの真髄とは、大衆の感情と思考への理解だ」。宣伝戦略を重んじたナチスのヒトラーは言う。古くは洞窟壁画から、中世キリスト教会の「洗脳手法」、チェ・ゲバラ肖像画の著作権フリー戦略まで。人々を巧みに操る力が社会に与えた影響を徹底分析!

## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何?  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何?
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

## 第4集 ヒトラーの野望



アドルフ・ヒトラー『我が闘争』「どれほど見事なプロパガンダのテクニックをもってしても、ある根本原則を絶えず念頭においておかない限り成功はおぼつかない。すなわち要点を絞り込み、それをひたすら繰り返すのだ」

### BS世界のドキュメンタリー

## トランプ対バイデン ～2020年アメリカの選択～ 前編



「何事も勝つためにやれ!」。トランプは厳格な父の教えを守り、強引な手法で不動産業で成り上がる。メディアを操り、ライバルを蹴落とし、大統領に上り詰めたトランプ。

### NHK特集 激動の記録

## ①戦時日本 日本ニュース 昭和15～20年



開戦の大本営発表は、ニュース映像のためにわざわざ再現したもの。日本の敗色が濃くなる中で、戦果を盛って発表する「大本営発表」に、次第に疑いの目を向けていく国民も。

### NHKスペシャルドキュメント太平洋戦争

## ⑤踏みにじられた南の島 ～レイテ・フィリピン～



フィリピンを占領した日本軍は「宣撫隊」を作って、地元住民の「洗脳」に努めた。しかし、うまくいかなかった。

### NHK特集 激動の記録

## ②終戦前後 日本ニュース 昭和18～20年



映画館で流れるニュース映像では、負け戦は粉飾され、国民は勇ましく決起を呼びかけられた。でも人々はそんなフェイクニュースからも真実を鋭く感じ取った。特攻機に乗り込む若者の表情に何を感じるだろうか。

## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何?  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何?
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

## “幸せ”に支配されるSNSの若者たち



「ハッピークラシー」とは幸せと支配を組み合わせた造語で、ソーシャルメディアによって若者たちが幸せであることに捕らわれていると、欧米では社会問題化している。「ハッピークラシー」の実態を知り、解決法を探ってみよう。

## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?**
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何?  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何?
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

# 04. SNSの功罪 溢れる「情報」 失われる何か

SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)は、英語圏ではソーシャルメディア、あるいは単に「ソーシャル」と呼ばれ、ビジネスや情報収集、コミュニケーションのあり方を一変させました。

私たちの生活の中でも、身近な人とのコミュニケーションや情報収集、買い物は言うに及ばず、共感の「いいね!」やネガティブな意見の発信、承認欲求を満たすことに至るまで、SNSに頼る場面が増えました。気が付けば、私たちはSNSに覆われた世界で日々を過ごしているのではないのでしょうか。

一方で、真偽や発信の意図が定かではない情報が世界中に拡散するだけでなく、選挙や災害、戦争に至るまで、人々の生活を左右しかねない重大な局面にも大きな影響を与える存在になりました。

わずか2~30年の間に世界を変えたSNS。その「歴史」とともに、議論されてきた「功罪」も含めて考えるための番組をピックアップしました。

SNSでのコミュニケーションを通じて「闇バイト」に加担してしまった若者の悔い。SNSを駆使した「認知戦」という新たな戦争の姿。世界規模で行われるネット広告の「闇」。知らず知らずのうちに集められてしまう、あなたの「顔」情報。そして、SNSが人々の心を蝕んでいるという「哲学界のロックスター」の言説。

多彩な番組の中から、SNSというメディアにどう向き合うか、そして、もはや私たちの生活の一部となったSNSとどう暮らしていくのか、そのヒントをつかんでください。

## NHKスペシャル

### わが子が“闇バイト”に手を染めるとき



なぜ「闇バイト」に関わってしまったのか。親も気づかないところで、特殊詐欺や強盗などの犯罪に手を染める若者たちは、なぜ犯罪の一線を踏み越えてしまったのか。有名私立大学に進学したばかりだった男性は、民家から金庫を盗み出す窃盗に加担し、逃走中の交通事故で命を落とした。介護職を目指していた10代の女性は、高齢者から繰り返し金をだまし取った。当事者たちの声を徹底取材し、闇に飲まれてしまった若者たちの実態に迫る。

## NHKスペシャル

### 調査報道新世紀File6中国・流出文書を追う



中国のサイバーセキュリティ企業のものでされる内部文書が流出した。各国の政府機関や市民の情報とみられる大量のデータ、中国当局の名前が記されたリスト。世界中の専門家と文書を徹底分析すると、サイバー攻撃の手口や実態、さらに「認知戦」と呼ばれる新たな戦争の姿も浮き彫りになった。果たして、その狙いとは。流出文書を手がかりに、ネット空間に広がる新たな脅威に迫る。

## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何?  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何?
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

## 嘘やヘイトもカネになる ネット自動広告取引の闇



インターネットを見ると表示される広告。でも、なぜこの広告があなたのスマホに出て来るのか、その仕組みを知っていますか？偽情報やヘイトスピーチを発信するサイトに、世界的な有名ブランドの広告が掲載される事態が起きた。ところが広告主も「どんなサイトに広告が出るのか」把握しきれないという。プラットフォームの対策は十分なのか？巨大な規模となったネット広告の“闇”に迫る。

## あなたの顔は大丈夫？ 最先端“顔認証システム”が危うい



監視カメラが犯罪摘発に効果をあげている。しかしその映像で今あなたがどこにいるか特定されるとしたら？インターネットやSNSの写真から「顔」情報を集め、AIが分析しデータベースを構築、瞬時に「誰か」を特定するシステムも動き出している。本人の同意なく「顔」情報が集められている？ あなたはその危険性に気付いている？ 世界で急速に進む「顔」情報を巡る“怖い”最先線をドキュメント。

欲望の時代の哲学  
マルクス・ガブリエル

【5回シリーズ】

SNS社会で増幅する欲望、怨恨、そして分断。コミュニケーション ツールとして期待を集めたデジタル・メディアこそが 社会を破壊し人々の心を蝕んでいると、新進気鋭のドイツの哲学者マルクス・ガブリエルは指摘する。カントやヘーゲルなどドイツ伝統の哲学に新たな生命を吹き込むことで、現代人の心の問題を解き明かす。

## 第1回 欲望の奴隷からの脱出



「欲望」の正体について解き明かします。人は他人から抱かれるイメージに満足できないとガブリエルは語る。SNSこそが社会を破壊している!?

## “幸せ”に支配されるSNSの若者たち



「ハッピークラシー」とは幸せと支配を組み合わせた造語で、ソーシャルメディアによって若者たちが幸せであることに捕らわれていると、欧米では社会問題化している。「いいね」を増やそうと必死になる。極端なダイエットに走る。自分は醜いと思ひ込む。「ハッピークラシー」の実態を知り、解決法を探ってみよう。

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何?  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何?
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

# 05. 気候変動について学ぼう

10代から20代のみなさんの未来について考えた時、避けて通れないのが、地球温暖化の問題です。

最近では「Climate change」気候変動という表現に変わって「Climatecrisis」気候危機という言葉もしばしば目にするようになりましたが、2023年7月、国連のアントニオ・グテーレス事務総長は「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰の時代が来た」と警告し、「Global boiling」という造語がメディアを賑わすようになっています。

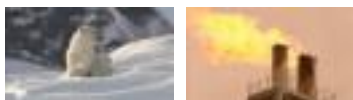
産業革命以後、二酸化炭素の量が急増していることが科学的な分析によって明らかにされています。石油や石炭などの化石燃料を大量に使用するようになったことがその主因です。その結果、世界の平均気温は上がり続けているのです。

そして毎年のようにヨーロッパやアメリカを襲う熱波や山火事、アジアそして日本を襲う超大型台風は、人々に温暖化の行き着く先の危機感を抱かせるのに十分でしょう。

世界が目指しているのは、2015年のCOP21（国連気候変動枠組み条約・第21回締約国会議）で採択された「パリ協定」に掲げられた目標です。「世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保ち、1.5℃に抑える努力をする」。この1.5℃の目標に向けて、2024年のCOP28では、エネルギーに関する合意がなされました。具体的には、化石燃料から「脱却」していき、2030年までに再生可能エネルギー容量を3倍にし、かつ省エネ改善率を2倍にすることで、人類が温暖化問題を解決できるのか、2020年代の我々の努力にかかっているのです。

しかし、アメリカはトランプ大統領がパリ協定からの離脱を表明、さらに2026年、アメリカとイスラエルにイランへの攻撃に始まる報復の連鎖は、世界のエネルギー供給体制を大きく揺るがせただけでなく、脱炭素社会への先行きも不透明感に覆われるようになりました。

21世紀の今、人類文明がいかにこの惑星を危機に陥らせているのか、温暖化のため北極圏に起きた変化とは、温暖化がもたらす巨大災害とは、そしてビジネス界はそれを防ぐためにどんな取り組みをしているのか…リストに挙げた番組を視聴して、みなさんの未来に大きく影響する温暖化問題について学んでみましょう。



## NHKスペシャル

### 北極大変動

【2回シリーズ】

北極で一体何が起きているのか？ 地球温暖化による氷の消失、絶滅に瀕するホッキョクグマ。北極海を覆う氷の減少が、エネルギーを求める人間の欲望に火をつけた。石油や天然ガスなど、海底に眠る膨大な地下資源を巡る各国の激しい開発競争は、新たな二酸化炭素の排出を招き、地球温暖化をさらに加速させる…。人類はこの「負の連鎖」を食い止め、化石燃料への依存から脱することができるのか？

## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何？
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何？  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何？
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ



## NHKスペシャル 巨大災害 MEGA DISASTER 地球大変動の衝撃

【5回シリーズ】

地球温暖化は大気と海の大循環を変動させ、大洪水・大干ばつ・大寒波などの異常気象を生み出し(第1集)、海水温上昇により、スーパー台風を生み出し(第2集)、日本にも短期間に勢いを増す豪雨をもたらし、河川の氾濫や大規模な土砂災害につながる。



## シリーズ“脱炭素革命”

【3回シリーズ】

二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする脱炭素社会へ大きく舵を切った世界。急速に変化する世界のビジネス界を追うシリーズ。第1回は、化石燃料から投資を撤退する動きを加速させるウォール街や、再生可能エネルギーの価格破壊など、激変する金融の最前線を描く。第2回ではドイツの大手電力会社の取り組みなどを、第3回では中国・日本・アメリカの企業の取り組みを紹介する。

## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何?  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何?
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

### BS世界のドキュメンタリー

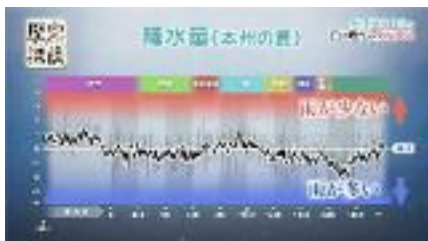
#### 天空の脱炭素 ～航空機業界の未来～



温暖化を防ぐ「脱炭素」が叫ばれる中、二酸化炭素排出量の2～3%を占める飛行機の「電化」に注目が集まり欧州では開発競争が加速している。ドイツやノルウェーでの先進的な試み取材して、航空機業界の将来を探る調査報道ドキュメント。

### 歴史探偵

#### 大江戸SDGs



世界で注目されているSDGsの参考になると注目されているのが江戸の暮らし。徹底した再利用が行われ、ごみがほとんど出なかった。最新研究から、江戸時代が日本史上、一番雨が多く寒かった時期だったことがわかってきた。人々はどのようにこの気候変動に対応してきたのか?歴史から地球の未来を考える!

# 06. 地球に生きる者たち ワイルドライフ

地球の環境について考える皆さん。

地球に生きる生き物たちのことを知ってください。

「これまで誰も見たことのない」生き物たち、地球の姿がここに 있습니다。

ハイスピードカメラや超高感度カメラ、水中カメラなどの最新機材で斬新な映像づくりを目指して、知られざる自然の素顔を映し出すNHKの自然番組「ワイルドライフ」から、選りすぐりのラインアップです。最先端の研究調査で解明された動物行動や生態に関する知見などを交え、長期間密着取材することで初めて浮き彫りになる感動のドラマを描き出します。

人間たちの歴史とともに変わってきた生き物たちの姿、大きく変わりつつある地球環境の影響も見逃すことはできません。絶滅危惧種の生き物たちも多く登場します。生き物たちの姿を通じて、今起きている地球の知られざる鼓動を体感してください。

## ワイルドライフ

### アフリカ大サバンナ 密着1年!波乱万丈ライオン王者への道



オスのライオンは、成長すると生まれ育った群れを離れ、放浪して仲間を見つけてゆく。そして実力を蓄え群れの王座を勝ち取ることで、自らの子孫を残すことができるのだ。独り立ちのお年頃を迎えた若いオス3頭に、GPS発信器をつけて徹底追跡。親離れ、仲間探し、生き抜くための狩りの知恵……。キャラの違う3頭はいかに“王者”への道を歩むのか?若いオスライオン3頭の波乱万丈のドラマを追う!

## ワイルドライフ

### アフリカ大草原 1年密着!ヌー150万頭 大繁栄の秘密に迫る



世界屈指の野生の王国、アフリカ・セレンゲティ大平原。ここで最も数が多い大型動物がオグロヌー。その数なんと150万頭。緑の草を求めて、広大な草原を移動して暮らしている。ライオンやチーター、ワニに狙われながら、大草原を疾走し、森を抜け、川を渡り、ひたすら移動を続けるヌーの群れに1年間密着。旅の途中には、オスが繰り広げる謎の大合唱、一斉に誕生する子供たちなどなど驚きのシーンが連続!大平原で繰り上げられる壮大な命のドラマを堪能してください!

## ワイルドライフ

### ンゴロンゴロ大クレーター タンザニア 野生の円形劇場



東アフリカ・タンザニア北西部に広がるンゴロンゴロ・大クレーター。山手線の内側に匹敵する広さの土地には、乾季でも枯れない奇跡の川が流れ、野生動物たちが満ちあふれる。この“円形劇場”に暮らすのは、絶滅が危惧されるクロサイから、ライオン、チーター、ハイエナ、ゾウ、カバ、ジャッカル、フラミンゴなどなど多彩な動物たち。そしてここで暮らすマサイ族や、自然保護区を監視するレンジャーも登場。地球の営みが生み出した不思議な“別世界”で繰り上げられるドラマを堪能ください。

## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何?  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何?
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

## 地球大劇場! アメリカ大陸 命の躍動を追う



南北2万キロに連なるアメリカ大陸。極寒のオーロラから熱帯雨林、砂漠に大平原、塩の台地に潜む真っ赤な湖や熱帯の太河、さらには巨大な水中洞窟まで、想像を超える絶景の連続!そしてそこに暮らす生き物たちは、ヒグマ、シロイワヤギ、カリブー、ゴールデンライオンタマリン、アリクイ、ジンベイザメ、フラミンゴ、ピラニア、デンキウナギ……。狩りや子育て、過酷な環境に適応した不思議な生き方は、スペクタクルな決定的瞬間の連続!絶景と命の輝きに満ちた大自然のドラマは一気見必至!

## 激走ペンギン! 走りの技を受け継げ



大西洋に浮かぶフォークランド諸島。様々な種類が集まる世界有数のペンギン王国だ。ここで驚異の身体能力を誇るのがジェンツーペンギン。弾丸のような泳ぎ、豪快なジャンプ、速さと持久力を備えた走りはまさにアスリート!その子育て、まずは「走り」から。親鳥はなぜか逃げ続け、ヒナたちが必死に追いかける。一見スパルタ?の鍛錬で走りを鍛えてゆく。そして海へ。独り立ちの季節まで、ペンギンたちひと夏の子育てに密着!

## 北米ソノラ砂漠 発見! タカを用心棒にするハチドリ



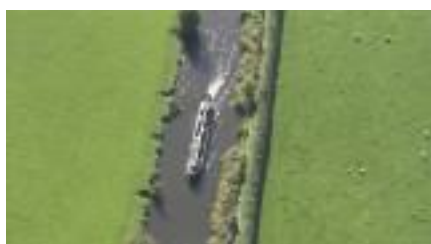
荒涼とした大地が広がる北米ソノラ砂漠。そのまっただ中に緑豊かな森が広がる山がある。ここを飛び交う妖精のような生きものが、手の平に入るほど小さな鳥・ノドグロハチドリ。最近、この鳥の驚きの行動が発見された。なんと、恐ろしいタカを用心棒代わりにして子育てするというのだ。そこには、天敵からヒナを守るための大胆な戦略が秘められていた。ハチドリを中心に、鳥たちが繰り広げる不思議な関係を世界で初めて映像化する。

## 海のハンター シャチ 波打ちぎわの襲撃 南米パタゴニア



アルゼンチン・パタゴニア地方。大西洋に突き出すバルデス半島に不思議なシャチがあらわれる。全長9mのもの巨体で浜辺に乗り上げ、アシカの仲間・オタリアを襲うのだ。海に暮らす生きものであるシャチが、自らの命をかけて陸に上がる姿は、迫力満点。この狩りをつぶさに見られるのは夏の終わりから秋にかけての、わずか10日ほど。取材班はハイスピードカメラも駆使し、シャチの狩りに秘められた驚きの知恵と巧みな技に迫る。

## 英国運河 命輝く水辺の物語



産業革命発祥の地、イギリス。その発展を支えたのは内陸に縦横に走る運河だ。作られてから200年以上たった今、運河には多くの生き物たちが集う。ハクチョウやバンなど水鳥たちは運河を舞台に子育て、土手には水に潜る珍しいミズハタネズミが、水中にはコイ科のローチや肉食のパイクなど多くの淡水魚が生息する。運河を行き交うナローボートに暮らす人たちと、水辺に暮らす生き物たちの四季。美しくもたくましい水辺の命の物語。その輝きを見逃すな。

## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何?  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何?
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

## ワイルドライフ

### 東欧の秘境 タラ渓谷 断崖に野生を見た



ヨーロッパ南東部のバルカン半島に、“東欧のグランドキャニオン”と呼ばれる渓谷がある。旧ユーゴスラビア、モンテネグロにあるタラ渓谷。人を寄せ付けない急しゅんな断崖には、カモシカの仲間・シャモアが、岩場を自在に行き来して暮らす。渓谷を流れるタラ川は、滝や洞窟など珍しい景観を生みだし、水鳥やカエルたち多彩な生き物たちを育む。高度差は最大で1300メートル、“秘境”タラ渓谷の美しさと生き物たちの営みを描き出す。

## ワイルドライフ

### モンゴル 大平原 珍獣マヌルネコ 狩りの“妖術”を見た



モンゴルの大平原に暮らすマヌルネコは、全身モフモフの毛にくるまれ、ぼっちゃりで短足だ。これまでその暮らしは謎に包まれてきたが、現地の研究者の全面的な協力を得て、興味深い行動の数々を捉えることに成功。子どもたちの成長も初記録。初めて挑むネズミ狩りや、天敵の巨大ワシとの攻防、親子の別れの瞬間など、世界初となる映像の連続だ。姿だけでなく行動も極めて個性的なマヌルネコ。厳しい大自然を生き抜く姿を追う。

## ワイルドライフ

### 日本列島 きこの森の小宇宙



きこはいったい何者なのか？日本で見られるきこは、5千種とも1万種とも言われる。しかしその中で名前が付いているものはたったの3千種ほど。植物でも動物でもなく菌類であるきこは、身近だけど、まだ多くの謎を抱える存在だ。森の中で何をしているのか？北海道の森の奥で見つけた毒きこの切り株の謎からはじまった、めくるめく“きこ”の世界への旅。なんとも奇妙なきこをめぐる冒険へ、ようこそ！

## ワイルドライフ

### 都会の水辺 鶴見川 命にぎわう流域の風景



東京と神奈川を流れる鶴見川。かつて汚染や水害が深刻だった川に多くの生きものが復活している。河川敷の土手に巣穴を掘って子育てするカワセミ。川底のコケを糧に成長するアユや絶滅危惧種のウナギも命をつなぐ。冬、北国から何種類ものカモたちが飛来すると生態系の頂点に立つオオタカが狩りを繰り返す。都会の水辺をよみがえらせた取り組みは、“流域”という視点から、自然保護、防災、そして次の世代に引き継いでゆくために今日も続いている。

## ワイルドライフ

### 日本海 佐渡 巨大魚激突！命輝く海藻の森



日本海・佐渡の海藻の森で繰り返される命のドラマ。推定年齢30歳・大きさ1メートルものコブダイ「ヤマト」が縄張りを守るためにライバルと激突！1千匹も集結して子どもを“出産”するオキタナゴ、鮮やかな赤いヒレを広げた魚のカップルは恋のダンスを舞う。海藻に産み付けられた卵を命がけで守る黄金色の魚・アイナメにも密着。海水温の上昇で熱帯からやってきた魚は、穴を掘って海藻の森に住み着いた！

## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何？
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何？  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何？
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

# 07 生命の「進化」を考えよう 「ヒト」って何？

私たちの祖先は、アフリカに住む、か弱い「サル」でした。その「サル」が現生人類へと進化する過程で、何度も絶滅の危機に瀕します。生き延びたのは偶然と幸運でした。生物として強い者が生き残ったわけでもありませんでした。なぜサバイバルできたかを学ぶことは、とりも直さず、ヒトとは何かを学ぶことです。

紹介する番組では、「人間」とは何か。「人間らしさ」とは何か。「進化」の過程で私たちの祖先は何を得て、今の姿に至ったのか。その道程をたどります。ヒトの進化についての学説も、新たな化石の発見や遺伝情報、DNAの解析などにより、近年、長足の進歩を遂げています。アフリカで誕生した人類が日本に到達するのもその道程の一つです。

そして、そもそも「進化」とは何なのか？ 40億年前の生命誕生から人類まで一度も途切れず繋がっている命の記憶・DNAから、古代生物の「痕跡」をたどると？ 生命の長い歴史の中で、1億5千万年もの間、繁栄を謳歌した恐竜たちの絶滅の理由は？ そして「進化」の過程を、「自然淘汰により生物は進化する」という画期的な理論で説き、既存の生命観を一変させたダーウィンの「種の起源」を読み解くと??

私たち、現代に生きる人類につながる壮大な物語を、様々な角度から感じ取り、知ることができるはず。「私たちは何者なのか」 地球上の“生命”の連鎖に触れてつかみ取ってください。



## NHKスペシャル ヒューマン なぜ人間になれたのか

【4回シリーズ】

人間とは何か。「人間らしさ」の起源を20万年間の人類史に探る。「ともに生きる」人間集団、「仲間を大切に」思うがゆえの攻撃性の抑制、農耕の起源に潜む「平和」志向、「都市」を舞台にした人間の心の変遷。私たちの目指すべき未来を探る。

NHKスペシャル ヒューマン なぜ人間になれたのか

### 第1集 旅はアフリカから 始まった



「仲間」であることを示す装飾具の相次ぐ発見から分かってきたことは、「絆」を確認しあう大切さ。そして、大噴火という逆境が遠く離れた集団との交易を促したことも。「ともに生きる」という人間集団の基本が確立した過程をたどる。

## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何？
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何？  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何？
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

第2集 グレートジャーニーの果てに



6万年前、アフリカから世界に広がり始めた人類の旅は苦難に満ちていた。我々の祖先、ホモ・サピエンスはネアンデルタール人との生存競争を、飛び道具などを使って勝ち抜く。しかしそれは果てしない暴力の連鎖をも生み出した。規律心の進化と攻撃性の制御…現代にまで続く宿命に迫る。



NHKスペシャル

人類誕生

【3回シリーズ】

アフリカのか弱い生き物に過ぎなかったサルが、700万年でなぜヒトに進化できたのか。人類の進化の過程は常に絶滅と隣り合わせだった。次々と襲いかかる危機をいかにして乗り越えたのか？ヒトに至るまでの幸運と偶然に満ちたドラマを描く。



NHKスペシャル 人類誕生

第1集 ①こうしてヒトが生まれた



か弱いアフリカのサルがなぜヒトへと進化できたのだろうか？最新科学が解き明かす、驚きと謎に満ちた人類の進化を、実写と見まごう超高精細CGでドラマ化。人類の偉大な旅＝グレート・ジャーニーに同行し、進化の重大な場面を目撃する、驚きの試聴体験！

NHKスペシャル 人類誕生

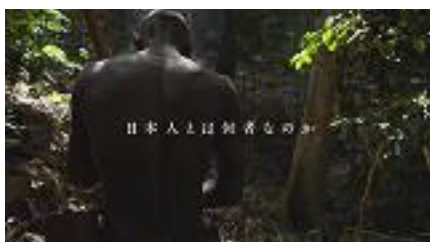
第2集 最強ライバルとの出会い そして別れ



私たちの祖先ホモ・サピエンスの最強のライバル、ネアンデルタール人。近年、両者が混血し、後者の遺伝子が進化に大きく貢献したことが判明。屈強な体を持つネアンデルタール人は滅び、きゃしゃなサピエンスが生き残った。仲間同士での「協力」と「想像力」が生存のポイント。人類史上の大逆転劇、その謎に迫る！

フロンティア

日本人とは何者なのか



私たち日本人のルーツは？そのカギを握るのは発掘された古代人の骨。そこから抽出されたDNAを解析することで大量の情報を読み出すことが可能になり、新発見が相次いでいる。アフリカで誕生した人類が日本に到達し、日本列島に独自の文化を生み出してゆくまで、数万年の長い道程を、最先端の科学技術が解き明かす。

INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア＝最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何？
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何？  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何？
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

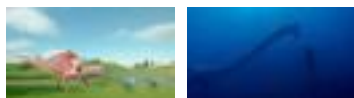


## ドキュメント

### 生命大躍進

【3回シリーズ】

40億年前の生命誕生から人類まで一度も途切れず繋がっている命の記憶、DNA。そこには古代生物の「痕跡」が残されている。信じがたい幸運や、想像を絶する大絶滅…壮大な進化のドラマをタイムトラベルCGで体感する。



## NHKスペシャル

### 恐竜超世界

【2回シリーズ】

最近の恐竜化石の発見は、これまでの常識を次々と覆している。どうして1億5千万年も繁栄できたのか。どのように暮らし、戦い、子孫を残し、そして死んでいったのか、その謎の全貌が見えてきた。超リアルなCGを駆使して、恐竜を通じて、進化論の具体例をビジュアルに学ぶ。

## 地球ドラマチック

### 哺乳類の大躍進! 恐竜絶滅後の世界



およそ6600万年前、隕石衝突による恐竜絶滅の後、哺乳類はどう生き延び、進化したのか? アメリカの化石発掘の最前線にカメラが潜入。前例のない驚くべき化石の発見が! 大惨事を大きなチャンスに変えた私たち人類の祖先、その歴史の転換点に迫る。



## 100分de名著

### ダーウィン『種の起源』

【4回シリーズ】

「自然淘汰により生物は進化する」という画期的な理論を、粘り強い観察と精緻な論理の積み重ねで築き上げた『種の起源』。既存の生命観を一変させたダーウィンの生命観では、全ての生物は一つの巨大な連鎖でつながっています。人間には他の生物を操る権利などではなく、互いに尊重し共存していかなければならない、というメッセージがみえてきます。



## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ

## 7 生命の「進化」を考えよう 「ヒト」って何?

- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何?  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何?
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ



## NHKスペシャル

### 病の起源

【4回シリーズ】

人類は誕生して600万年の間、敵や過酷な環境と闘いながら生き延びてきた。しかし、優れた知能を得た人類も打ち勝てなかったのが病だ。進化の過程で病の種を体に抱え込んでしまったからである。私たちはなぜ病気になるのか。病の起源を求めて時を超え、治療や予防の手がかりを探る。苦しむ患者さんが多い病を取り上げ、病と人類の進化の関係を解き明かしていく。

## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何?  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何?
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

# 08. 人体の不思議を学ぼう

テレビを字解きすれば「遠くteleを見ることvision」です。

テレビ技術の革新は水中や宇宙、南極、深海、高山を映し出す方向へと、しかもより鮮やかに描き出す方向に進化してきました。実用的な胃カメラが日本人技術者によって発明された時、NHKはいち早く胃の手術を中継しました。人体もテレビカメラが挑むべき「秘境」であったわけです。

1989年に放送を始めた「人体」シリーズは、顕微鏡撮影を含む特殊撮影の実写と、最新研究を反映したCGによって、体の内部を可視化し、大きな評判を得ました。医学・生理学の進歩、撮影技術の更なる進化、CGの高精細化を反映しつつ、今日に至るまで「人体」シリーズは作成されています。

進化の過程で病の種を抱え込んだ人類、というテーマで「病の起源」シリーズは制作されました。進化という視点を取り入れることで予防や治療のヒントも得られます。さらに最新の研究では人類の遺伝子中には、ウイルスに由来するものが相当程度あることが分かってきました。感染したウイルスが宿主だけでなくその子孫にも影響を与えるのです。

そして2025年には、鍼(はり)やお灸(きゅう)に代表される東洋医学について、免疫機能など、人間の身体のマカニズムとの関係から考える番組をラインナップしました。

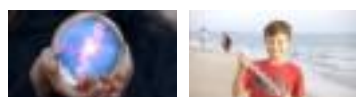
医学や看護を志す学生さんも、そうでない人も、最新の知見を知ることで、人間の身体の中の絶妙なマカニズムに驚いてください。



## NHKスペシャル 人体 ミクロの大冒険

【3回シリーズ】

1989年放送開始の「人体」シリーズは、特殊撮影や高精細CGで、知られざる人体の秘密に迫ってきた。臓器間のメッセージのやりとりに注目した「神秘の巨大ネットワーク」シリーズを公開中。次回は「細胞」「遺伝子」に着目したシリーズを予定。胎内で体質を決めていく細胞の活動、ホルモン、老化とその克服…3回シリーズで命を育む細胞のパワーに迫る。



## シリーズ 人体II 遺伝子特別編

【2回シリーズ】

役に立たないゴミと思われていたDNAに、病から守ったり、個性や体質を決める働きがあることが分かってきた。さらに「スイッチ」の切り替えによって遺伝子の働きが大きく変わり、人生そのものまでが変わることも。遺伝子研究の最前線を紹介。

## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?

## 8 人体の不思議を学ぼう

- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何?  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何?
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ



## シリーズ人体 特別版 ～神秘の巨大ネットワーク～

【7回シリーズ】

これまでの「人体観」を覆すパラダイムシフトが起こりつつある。「体中の臓器が互いに情報をやりとりすることで私たちの体は成り立っている」という驚きの事実。それを知ることでもがんや認知症やメタボなど困難な病気を克服する新戦略が見え始めている。神秘的な体の秘密を解き明かしていく知的エンターテインメント。ALL VTR版で提供する。



## NHKスペシャル

### 病の起源

【4回シリーズ】

人類は誕生して600万年の間、敵や過酷な環境と闘いながら生き延びてきた。しかし、優れた知能を得た人類も打ち勝てなかったのが病だ。進化の過程で病の種を体に抱え込んでしまったからである。私たちはなぜ病気になるのか。病の起源を求めて時を超え、治療や予防の手がかりを探る。苦しむ患者さんが多い病を取り上げ、病と人類の進化の関係を解き明かしていく。

## フロンティア

### 東洋医学とは何か



痛みや不調を改善するとされる鍼(はり)やお灸(きゅう)の「ツボ」。最近、全身の免疫機能に及ぼす驚きのメカニズムが明らかになってきた。アフリカで広がる結核患者の免疫機能アップのために「足三里」のツボを刺激するケアなど、世界的にも注目が集まっている。漢方薬の分野でも、腸内細菌の働きを介して腸の免疫機能を高めるメカニズムが明らかに。東洋医学と近代医学を融合させ未来の医療を模索する取り組みも始まっている。

## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線につ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何?  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何?
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

# 09. コロナ・伝染病と人類について考えよう

2020年、新型コロナウイルスの世界的流行が日本にも襲来し、「コロナ禍」という社会の激変に見舞われました。ITを駆使した在宅勤務、オンライン会議、キャッシュレス化、授業のオンライン化などなど、皆さんにとって当たり前のことも、ついこの間の「コロナ禍」がもたらした変化と言えるかもしれません。米マイクロソフトのサティア・ナデラCEOは2020年、「2年分のデジタル変革が2カ月で起きた」と述べ、コロナがDX(デジタル・トランスフォーメーション)を加速させ、人々の思考と行動を変えたと言います。『サピエンス全史』などの著作で有名なイスラエルの歴史学者ユヴァル・ノア・ハラリ氏は「非常事態は、歴史のプロセスを早送りする」と看破しました。

「伝染病と人類」。顕微鏡が発明され、はやりやまいの正体がごくごく小さな生き物や、100%生き物とも言えないウイルスだと分かる前から、人類は伝染病と格闘してきました。

その中でも最悪の病禍は、1346年から数年間にわたったパンデミックかもしれません。ペスト菌によるこの感染症は、皮膚が黒くなる症状から「黒死病」と呼ばれ、中東からヨーロッパの全人口の3分の1が亡くなりました。この感染爆発は当時の社会を大きく変えることになりました。人口減少のため労働力不足となり、賃金が上がり、貨幣経済が行き渡りました。労働者階級の価値が高まり、庶民が自由を享受するようになりました。土地が手つかずになり、森林が再生したという説もあります。人類最大の災厄は、中世社会を変容させ、ルネサンスや大航海時代の近世への扉を開いたともいえるかもしれません。

マイクロソフトの創業者ビル・ゲイツは、2015年の時点で「次の数十年で1千万人以上が亡くなる災厄は、戦争ではなく感染症だ」と予測しました。ゲイツだけでなく多くの専門家が、人々が国境を越えて頻繁に行き来する中、感染爆発に懸念を抱いていました。コロナウイルスによる危機は一旦去ったかに見えますが、新たなパンデミックが起きる危険は決して小さくはありません。

このライブラリーには「コロナ・パンデミック5年目の検証」という番組を新たに加えました。日本でコロナ対策の最前線に立った専門家が、日本のコロナ禍を振り返り、次のパンデミックに備える策を提言します。また、コロナによる医療崩壊の現場で医師たちがどう振る舞ったのかを追った海外ドキュメンタリー、またノーベル賞作家カミュが、ペストと格闘する人々を通じて、極限状態での「誠実さ」や「職責」を問うた小説『ペスト』に触れてみましょう。

文明の興亡に関わる感染症。社会構造を大きく変えるパンデミック。皆さんもまた、新型コロナウイルスによる「禍」という人類史上の一大事の目撃者です。その一人として、コロナ、そして伝染病と人類との関わりを考えてみてください。

## TVシンポジウム

### コロナ・パンデミック5年目の検証



未知の感染症で世界を恐怖に陥れたコロナ・パンデミック。当時コロナ対策の最前線にいた研究者たちと、新型コロナウイルスとの闘いを検証し、次のパンデミックに備え何が求められているのかを考える。▽日本での対策。世界の評価は？▽緊急事態宣言の背景に医療崩壊の危機！病院で起きていたことは？▽ワクチンの誕生は何を変えたのか？▽SNS時代の中で生まれたインフォデミックとは？皆さんは“あの頃”のことを、どう感じていましたか？そして今、どう振り返りますか？

## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何?  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何?
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

## コロナ医療崩壊の現場で ～医師フランチェスカの闘い～



イタリアを襲ったコロナ感染爆発の中心地・クレモナの救急病院で働く女性医師に密着。どの命から救うのか選択を迫られる日々。同僚も次々に感染する絶望的な状況の中、死の淵にいた18歳の少年が奇跡的に回復！ 少しずつ希望が見え始めるが…。



### 100分de名著

#### カミュ『ペスト』

【4回シリーズ】

1947年に出版された小説が、コロナで注目を集めて売れている。ノーベル賞作家カミュが、感染症という見えない敵と戦う市民の姿を描いた『ペスト』だ。後手に回る行政、人々の相互不信、愛する人との過酷な別れ。極限状況での「誠実さ」「自分の職務を果たすこと」とは。



### 100分de名著

#### カミュ『ペスト』 (4)われ反抗す ゆえにわれら在り



ペストが沈静化する中、仲間と妻を失った医師は、後世のために全ての記録を書き記そうと決意する。私たちが打ちのめす「不条理」とどう向き合っていけば良いのか。コロナの中でなすべきことは何なのか、誠実に自分の義務を果たすことについて考えてみよう。

### BS世界のドキュメンタリー

#### ロックダウン下の野生動物たち



コロナ禍のロックダウンは人間社会だけでなく、自然界に驚くべき変化をもたらした。観光客の減少でウミガメの産卵率は上昇。交通量の減少は、野生動物の交通事故を減らしただけでなく、鳴き方を変えた鳥もいる。動物たちの柔軟な適応力や人間が引き起こしてきた自然界への影響について考えさせられる科学ドキュメンタリー。

### INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何?  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何?
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

# 10. 数理の好奇心を極める

古今東西を問わず、ヒトは自然現象を見ながら、なぜ、そのことが起きるのかを考えてきました。

太陽はなぜ東から登り、西に沈むのか。世界はどうやって始まったのか。こうした謎を説明するために「神話」や「創造主」が必要とされました。世界の始まりを物語るストーリーや、超自然的な絶対者を仮定して、自分たちをとり囲む世界の事象の説明を求め続けてきました。

西洋思想の源流となったギリシャ哲学。タレスは「万物の根源は水である」と説き、ピタゴラスは「数である」とし、「万物は火である」とみなしたヘラクレイトスは「万物は流転する」とし、デモクリトスは「空虚の中で原子が運動して世界が成り立っている」と看破しました。ギリシャ思想の流れをくむ西洋では統一原理を求めるマインドがあります。それはキリスト教やイスラム教など一神教によって更に裏打ちされてきました。

18世紀、西洋哲学の巨人カントは、「科学」について徹底的に考え抜き、近代哲学の礎を築きました。20世紀、アインシュタインは世界の全ての物理事象を説明するシンプルな方程式にたどり着きました。

現代の数学や物理学は、西洋の知の伝統に根ざしています。この世のすべての事象には、規則性があり、簡単な数式で説明できる、そう信じてきた学者たちの格闘を、様々なアプローチで描き出す番組を数多くラインアップしました。

中でも、おススメは、天才数学者たちの格闘の歴史、数々の難問を、1回30分ワンテーマでトコトン分かりやすく掘り下げる！「笑わない数学」シリーズ！ 数学の“基本的”な概念から、未だ証明されていない超難問まで、パンサー尾形が「ギャグ封印」で挑む異色の番組です。

最先端のデジタル技術にも、宇宙を解き明かす理論にも、自然界の“真理”にも通じる数学の世界、どの番組を見てもきっとあなたの好奇心に応えてくれるはずです。



## 笑わない数学

パンサー尾形貴弘が難解な数学の世界を大真面目に解説する異色の知的エンターテインメント番組！「フェルマーの最終定理」「四色問題」「ガロア理論」「abc予想」「確率論」「P対NP問題」「カオス理論」「ポアンカレ予想」「暗号理論」「虚数」…。天才数学者をも苦しめてきた数々の難問、そして美しくも不思議な知の世界を、1回30分ワンテーマ、ギャグ封印で、トコトン分かりやすく掘り下げる！

## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何？
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何？  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何？
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ



## 100分de名著 カント『純粹理性批判』

【4回シリーズ】

近代哲学の礎を築いた18世紀の哲学者カント。『純粹理性批判』は哲学史上、最も難解な名著と言われます。でも大丈夫。100分でわかりやすく解説し、ITやAIで科学万能主義が幅をきかす現代に通じるメッセージを掘り起こします。



## 100分de名著 アインシュタイン『相対性理論』

【4回シリーズ】

誰もが知って誰も理解できない名著、それが『相対性理論』。でも、もう大丈夫。数学や科学の知識がなくても、アニメーションやCGで、物理学革命のエッセンスが分かります！「想像力は知識より重要だ」という天才博士の思考実験をたどろう。

## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何?  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何?
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

### NHKスペシャル

#### 魔性の難問 ～リーマン予想・天才たちの150年の闘い～



2、3、5、7…誰もが小学校で習う「素数」。この不規則な数字の羅列にどんな意味があると思いますか？ これこそ数学史上最大の難問「リーマン予想」。何か規則性があるはず！暗号が隠されているかも。その謎の魔力にとりつかれた天才数学者たちの、奇想天外なドラマとは？CGを駆使してわかりやすく紹介する。

### NHKスペシャル

#### 100年の難問はなぜ解けたのか 天才数学者 失踪の謎



丸？四角？宇宙の形を考えたことはありますか。この謎に迫る世紀の難問「ポアンカレ予想」を、ロシアの天才数学者が見事解決！しかし彼は、数学のノーベル賞と言われる賞を拒否して失踪した。一体なぜ？宇宙と数学が交錯する不思議な世界をのぞいてみよう。

### NHKスペシャル

#### 神の数式 ①この世は何からできているのか ～天才たちの100年の苦闘～



森羅万象を一つの数式で説明しようとした天才たちの狂気さははらんだ思索のドラマを、大胆にビジュアル化した野心作。第1回のテーマは「なぜモノに重さがあるのか？」。机に立てた鉛筆は倒れる…この当たり前の現象をヒントに、「神の数式」が解き明かされる!?

## 神の数式 ②宇宙はなぜ生まれたか ～最後の難問に挑む天才たち～



第2回のテーマは宇宙の起源。「物質の根源は点ではなく“ひも”」「この世は“10次元”」ってどういうこと？ 車椅子の天才・ホーキング博士たちが、数式で表せないブラックホールの奥底を探究してきた。その謎が解ければ宇宙がどのように始まったかという最大の難問に答えられる。人類の知のフロンティアを映像化！

市民X

## 謎の天才「サトシ・ナカモト」完全版(前編)



2008年10月、ネット上に「サトシ・ナカモト」と名乗る人物がある論文を投稿した。ブロックチェーン(事実上、改ざん不可能な分散記録システム)を紹介したこの論文から、暗号資産(仮想通貨)ビットコインが誕生する。しかし「サトシ・ナカモト」とは何者か、その正体は今もわからない。“今世紀最大級”の技術革新を生んだ謎の天才、そのミステリーに迫る。

市民X

## 謎の天才「サトシ・ナカモト」完全版(後編)



ビットコインに代表される暗号資産。国家も銀行も関わらず、コインも紙幣もない、世界のデジタル空間に存在する仮想通貨だ。“ノーベル賞級”とも言われるこの画期的な技術はなぜ生まれたのか？そして暗号資産の誕生が世界に与えた影響とは？

## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何?  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何?
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

# 11 「お金」って何？ 「資本主義」ってどうよ

「お金」の姿が急激に変わりつつあります。

コロナ禍の前まで、お財布からコインや紙幣を取り出すのは当たり前でしたが、この数年の間にキャッシュレス化が急速に進みました。

クレジットカードはもちろん、スマホのアプリでの決済、オンライン・ショッピングでは、店に足を運ぶことなく、クリックだけで欲しいものがすぐに手に入ります。さらには暗号化された仮想通貨(クリプト・カレンシー)も、「買ってみよう」と思った人もいないのではないでしょうか。私たちは「お金」の概念が大きく変わる時代に生きています。そして「豊かさ」の概念もまた揺らいでいます。

「幸福の経済学」のパイオニアである経済学者リチャード・イースタリンが提唱した「イースタリンのパラドクス」という概念があります。国の満足度、人々が幸福だと感じる度合いは、その国が達成した豊かさのレベルに関係ない、というものです。日本では経済成長期の40年に、実質GDPは6倍に増えたものの、生活満足度はほとんど変わらなかったとする研究があります。

なぜでしょうか？ 経済学者ジェームズ・デューゼンベリーは「近所の人に負けまいと見栄を張る」消費者の行動基準のためだと説明します。欲望は相対的なのです。みんなが豊かになるのではなく、自分が周りより豊かになって初めて充足を感じる、ヒトは「罪深い」生き物です。

空腹を満たしたい「欲望」が満たされると、おいしいものをたらふく食べたいという新たな「欲望」が生まれます。雨風をしのぎたいから、立派な家に住みたいへ。寒さをふせぐものを身にまとうから、他人よりおしゃれに着飾りたいへ。欲望が欲望を生み、競争が生じ、社会が発展してきた資本主義。6回シリーズの「欲望の資本主義」では、「欲望」をキーワードに、富を生むルールの変更を概観しています。

一方、ヒトには限りない欲望を良くないとみなす心の傾向もあります。多くの宗教は「足るを知る」べきだと説きます。時間が富を生む「利子」を禁じた宗教もあります。冷戦終結によって「社会主義」は「失敗した壮大な社会実験」だとされましたが、そもそもは欲望が生んだ格差という資本主義のマイナス面を是正しようと、理想主義者たちが唱えたオルタナティブ(もう一つの選択肢)でした。数年ほど前までは時代遅れとされたマルクスの『資本論』の見直しも始まっています。現代社会の課題を理解し、解決策を探る試みです。

お金の誕生した時代から、暗号資産の誕生まで。あくなき富の追求と、「資本主義」を生んだ人間の欲望とは何だったのか。「お金」と「資本主義」をキーワードに、以下の番組をみて考えてみませんか。

市民X

## 市民X 謎の天才「サトシ・ナカモト」完全版(前編)



2008年10月、ネット上に「サトシ・ナカモト」と名乗る人物がある論文を投稿した。ブロックチェーン(事実上、改ざん不可能な分散記録システム)を紹介したこの論文から、暗号資産(仮想通貨)ビットコインが誕生する。しかし「サトシ・ナカモト」とは何者か、その正体は今もわからない。“今世紀最大級”の技術革新を生んだ謎の天才、そのミステリーに迫る。

## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何？  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何?
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

## 謎の天才「サトシ・ナカモト」完全版(後編)



ビットコインに代表される暗号資産。国家も銀行も関わらず、コインも紙幣もない、世界のデジタル空間に存在する仮想通貨だ。“ノーベル賞級”とも言われるこの画期的な技術はなぜ生まれたのか？そして暗号資産の誕生が世界に与えた影響とは？

シリーズ欲望の経済史  
ルールが変わる時

## 【6回シリーズ】

今、経済に注がれる眼差しが熱い。英EU離脱、トランプ現象、揺れる世界経済…。資本主義の歴史とは、際限のない欲望のドラマだ。千年近くにわたる壮大な経済史を、欲望という視点から捉える、異色のドキュメント。なぜ世界同時不況は起きるのか。なぜバブルは繰り返すのか。どこに「ルールが変わる」ポイントがあったのか。「資本主義の終焉」が叫ばれる今だからこそ考える、知の冒険シリーズ。

## 欲望の経済史 ルールが変わる時

## ① 時が富を生む魔術 ～利子の誕生～



やめられない、止まらない。欲望が欲望を生む資本主義。そこには常に時代を動かす欲望の形があった。富を生むルールの変更を探る異色シリーズ前半の6回は「世界経済編」。

多くの宗教が禁じてきた「利子」。しかし、それなしには金融商品はあり得ず、経済成長も遂げられない。時間をお金と交換する「蛮行」が、資本主義の原点だった？

## 欲望の経済史 ルールが変わる時

## ⑥ 欲望が欲望を生む ～金融工学の果てに～



経済の混迷を説明できない経済学。我々は何を学んだのか。資本主義はどこに向かうのか。最終回は第1回から第5回の数百年にわたる欲望のドラマを振り返りながら、5人の識者に資本主義の本質を問う。「芸術に投資すべき」「成長とエコロジーを結びつける研究を」「ルーティーンワークは通用しなくなる」。世界の知性たちが描くポスト資本主義の世界のルールとは？

## NHKスペシャル ヒューマン なぜ人間になれたのか

## 第4集 そしてお金が生まれた



6000年前、西アジアで最初の都市が生まれた。その原動力は分業と貨幣。貨幣経済で生産は増えたが、格差も広がった。欲望の果てに資源を使い果たし、衰退したギリシャ文明。お金によって人類は何を手に入れ、何を失ったのか？ 私たちの目指すべき未来を探ろう。

## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何？  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何?
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

# 12. 揺らぐ「民主主義」

第二次世界大戦中、イギリスの首相を務めたウィンストン・チャーチルの次の言葉は、「民主主義」を語るときにしばしば引用されます。

**「民主主義は最悪の政治形態といわれてきた。他に試されてきたあらゆる形態を除けば」**

チャーチルは1947年 イギリス下院でこの演説を行いました。世界が自由主義陣営と社会主義陣営に分かれて対立する時代でした。では、社会主義は民主主義ではないのでしょうか。レーニンやスターリンとともにロシアに革命を起こしたトロツキーは「社会主義は民主主義を必要とする。人間の身体が酸素を必要とするように」と言っています。混乱しますね。もっともトロツキーは政権から排除され、暗殺されてしまいます。そしてスターリン支配下のロシアは、自由のない全体主義社会となります。

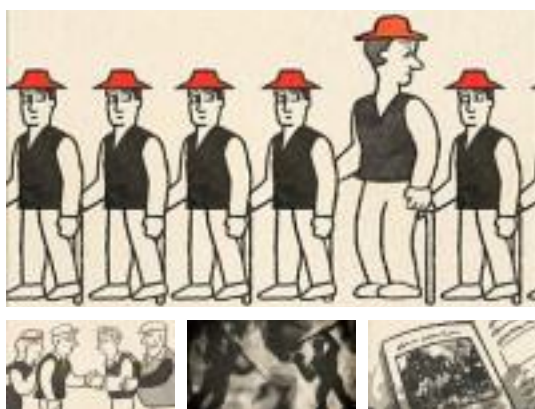
冷戦が終わったとき、アメリカの政治学者フランシス・フクヤマによる『歴史の終わり』という本がベストセラーになりました。自由主義・民主主義こそが政治の最終形態であるとする立場が書かれていると読者は理解したのです。しかし、西側民主主義世界の自信は程なくして揺らぎ始めます。

民主化を求める「アラブの春」は、2010年にチュニジアで始まりました。エジプトに飛び火して長期独裁政権が倒されましたが、やがて軍事政権になりました。ミャンマーのアウンサン・スーチーの政権も、軍事クーデターで短命に終わりました。コロナ下で独裁色を強めた国々も複数あります。2021年8月、アフガニスタンでは、選挙で選ばれた大統領による政権が終わり、イスラム原理主義のタリバンによる支配が復活しました。

民主主義とセットで語られる自由主義。日本は一般的に同調圧力が強いと言われる。みなさんも「空気を読む」ことを期待されて、息苦しく感じることもあるのではないのでしょうか。SNS(またはソーシャル・メディア)では、極端な意見は「炎上」しがちです。異質なものを排除する傾向は古今東西存在してきました。快活で健全な「自由」はどうすれば手に入るのでしょうか。

一般的に民主主義は古代ギリシャで生まれたとされます。そして、スペインの哲学者オルテガが言うように、現在の社会秩序は先人たちが営々と築き上げてきたものであり、「諸権利は死者たちが命をかけて獲得し守ってきた」ものでしょう。

チャーチルが言うように、「民主主義」が、たとえベストでなくても、よりまともな政体であるとするれば、私たちはそれをどうやってより良いものに洗練させていけばよいのでしょうか。例えば、銃を保持する「自由」は正しいのでしょうか。なかなか難しい問題です。考えるヒントとなりそうな番組をあげてみました。あすを生きるみなさんに、社会の基盤となる問題を考えていただきたいです。



## 100分de名著

### オルテガ『大衆の反逆』

【4回シリーズ】

20世紀に活躍したスペインの哲学者オルテガは、急激な産業化や大量消費社会の中で生まれた「大衆」が社会の中心で支配権をふるまうようになったと分析し、このままでは文明は衰退すると警告。現在の民主主義の限界をあぶり出したといえるこの名著から、あるべき社会とはどんなものなのか考えてよう。

## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何?  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何?
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

## オルテガ『大衆の反逆』 (1)大衆の時代



ネットとSNSでいつも他人の動向に気を取られてませんか？ オルテガは「みんなと違う人、みんなと同じように考えない人は、排除される危険性にさらされ、同質化の波に呑まれる」と言います。こうして生まれた「大衆社会」の問題点を見てみましょう。

## オルテガ『大衆の反逆』 (2)リベラルであること



オルテガは大衆化に抵抗する自由主義を擁護します。「異なる他者への寛容」「敵とともに共存する決意」にリベラリズムの本質はあると説きます。意見の異なる他者に、イデオロギーを振りかざして闘うのではなく、対話を重ねる。そこに人間の美しさがあると。

## オルテガ『大衆の反逆』 (3)死者の民主主義



過去より現在の方が優れているとの思い込みが民主主義を劣化させるとオルテガは説く。現在の社会秩序は先人たちが営々と築き上げてきたものであり、諸権利は死者たちが命をかけて獲得し守ってきたものだ。我々は過去の英知とともに生きているでしょうか。

## オルテガ『大衆の反逆』 (4)「保守」とは何か



オルテガは合理的に社会をデザインし、急進的な改革を求めるだけではダメだと。歴史の中の英知に耳を傾けながら「永遠の微調整」を進める「保守思想」。伝統や良識、経験値に学ぶメリットを考えてみよう。



## 100分de名著

## ル・ボン『群集心理』

【4回シリーズ】

フランス革命で社会の中核に躍り出た「民衆」。心理学者ル・ボンは「暗示」を受けやすい民衆は「衝動」の奴隷になっていると指摘。ネットやSNSによって、他者の動向に注意を払う現在の私たちも、暗示に感染しやすい「群集」だ。SNS時代にも通じる「群集心理」のメカニズムを、社会心理学の先駆者に学ぼう。

## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何?  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何?
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

## 第2回 自由が善と悪を取り違えるとき



自由すぎると管理してほしくなるのが人間のサガ。過剰な自由は過ちを犯すことを意味する。アメリカ銃乱射事件の要因とは？ 自由が「消費の選択」だけを意味しかねない現在。ポップでキッシュなアメリカというワンダーランドの本質に踏み込む。

### BS世界のドキュメンタリー

## トランプ対バイデン ～2020年 アメリカの選択～ 後編



ライバルを蹴落とし、メディアを操り、大統領に上り詰めたトランプ。ライバルを味方に引き入れ、人々に寄り添うスタイルで支持を集めるバイデン。人種差別、社会の分断、新型コロナ…対照的な二人は、アメリカ社会の問題にどう向き合ってきたのか？

## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何？
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何？  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何？
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

# 13. 世界秩序と「グローバル化」

ロシアとイスラエルは近隣諸国に侵攻し、トランプ大統領のアメリカは関税という武器を使って“貿易戦争”を始め、“力”によって国境を書き換えることもいとわない発言を繰り返しています。ついにはイランにも、攻撃を仕掛けました。国際協調は大きく衰退し、国連などの国際機構がもはや平和を保証する力を失い、大国が利己的な行動に走る……。『世界の秩序が崩壊する』という指摘も繰り返されています。「グローバル化」したはずの世界は今、どこへ向かおうとしているのでしょうか。それとも、グローバル化とは逆方向に向かおうとしているのでしょうか。

このライブラリーでは、少し歴史を振り返り、「グローバリゼーション」(グローバル化)とは何かを考えるための番組、そして「グローバル化」が進む世界で何が起きたのか、各国のリーダーたちの思考回路を伝える番組をラインアップしました。

グローバル化はいつ始まったのか。アレクサンダー大王がアジアに遠征しギリシャ文明を拡大させた時からだとも、モンゴルの騎馬民族によるユーラシアの席卷こそグローバル化を象徴する出来事だとする歴史家もいます。大航海時代に新大陸が「発見」され、ヨーロッパ世界が地球規模に拡大した時からだとする人もいます。

私たちの生きる現代では、第二次世界大戦が終結した時、あまりの犠牲と荒廃に、世界各国が戦争を未然に防ぐさまざまなメカニズムを構築しました。核の危機が叫ばれた冷戦期は、地域紛争はあっても世界戦争はなく、世界の人口は増え、平均寿命は伸び、非常に大雑把な言い方をすると、世界は一体となって繁栄を謳歌しました。

一方、社会主義の崩壊で資本主義が幅を利かせ、規制緩和や自由競争が進みました。また、技術の進展で輸送や通信のコストが減り、インターネットによって情報革命が起きました。コロナで人の自由な行き来が阻害されても、貿易を通じた相互依存は続き、世界が一体となって取り組まないとならない感染症予防、温暖化対策といった地球規模の問題も増えてきました。「グローバル化」が進んだ世界では、課題に向き合うことについても、国際協力という努力と秩序が保たれてきたのかもしれませんが。

しかし、その“秩序”の危機が叫ばれる今こそ、そしてグローバル化した世界だからこそ、新たな“解”が求められているとも言えます。リストに挙げたいいくつかの番組を視聴して、グローバル化の起源、その功罪、そしてより良い世界を作るヒントを見つけましょう。



## NHKスペシャル

### 文明の道

【7回シリーズ】

広大なユーラシア大陸では、衝突と融合を繰り返し、互いに影響し合いながら文明が興亡した。千数百年にわたる文明のダイナミズムを見つめ、歴史的な場面をCGで再現する。宗教対立が様々な混乱を起こしている現在、交易から利益を得て、対立を回避し、多民族の共存と融和を目指した古代人に見習うべきことは多い。

## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何?  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何?
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

①アレクサンドロス大王 ペルシャ帝国への挑戦



第1回では新たなアレクサンドロス像に迫る。強敵ペルシャを倒し、空前の世界帝国を築いたが、戦いの一方で敵の長所を取り入れ、文明の融合を進めた。多民族の共存共栄を目指した新たな大王像を提示する。

シリーズ欲望の経済史z ルールが変わる時

②空間をめぐる攻防 ～グローバルズムと国家～



安い場所で購入、高い場所で売る。大航海時代末期のイギリスは場所による価格差で世界で荒稼ぎ。それに対抗しようとオランダが考え出したのが「株」。そして今、本家イギリスや最大の資本主義国アメリカは自由主義へ異議を唱えている。一体なぜ？ 揺れるグローバリゼーション、対立する国家…資本主義の行末はいかに。

シリーズ欲望の経済史 日本戦後編

⑥ITグローバル化 改革の嵐の中で OS



8割を超える支持率を得た小泉内閣による改革の嵐。郵政民営化や大型ショッピングモールの開発ラッシュなどグローバルスタンダード化が進み、日本経済はバブル崩壊の後遺症から立ち直るかに見えたが…アメリカのGAFAsの台頭、中国の経済大国化と世界は激動している。安定か、挑戦か。キミたち若い世代は今後どのような生き方を模索するのか。

BS世界のドキュメンタリー

食品偽装大陸ヨーロッパ



馬肉を混入させた「牛肉」。植物性タンパクが混入された冷凍肉。マフィアが偽装した「エキストラバージンオイル」…ヨーロッパで拡大する食品偽装は深刻で、EUは偽装は簡単で、取締りは難しいとしている。食肉からマグロまで。食品偽装がどのように行われ、どのように市場に出回るのかを潜入ルポなどで明らかにする調査報道。

映像の世紀 デジタルリマスター版

第4集 ヒトラーの野望



「自由と幸福は突然、空からは降ってはこない」と「ドイツ復活の闘争」を派手な身振りで国民に呼びかけたアドルフ・ヒトラーは、熱狂的な支持を集めた。一体なぜ？ 巧みな演説手法とプロパガンダ映画からその秘密に迫ろう。世界恐慌の絶望からファシズムの台頭へ。ナチス・ドイツの狂気は、世界を戦争に巻き込んでいく。

INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何?  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何?
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

## トランプ対バイデン ～2020年アメリカの選択～ 前編



「何事も勝つためにやれ!」。トランプは厳格な父の教えを守り、強引な手法で不動産業で成り上がる。メディアを操り、ライバルを蹴落とし、大統領に上り詰めたトランプ。

## プーチン 戦争への道 ～なぜ侵攻に踏み切ったのか～



なぜ、プーチンはウクライナとの戦争に踏み切ったのか。KGB職員時代に経験したソ連の威信の失墜、チェチェン紛争を利用した地歩固め、旧ソ連領での民主化運動への懸念。そして欧米への反発と「偉大なる国家」復活への野心。プーチンの行動を振り返りながら、ウクライナ侵攻に到る真相を探る。

## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何?  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何?
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

# 14. スーパーパワー アメリカの大統領たち

トランプ大統領は何を考えているのか？ 世界中が“振り回されて”います。

2025年1月に就任、まず「アメリカ第一主義」を強調しました。その後、関税、領土、紛争への関与に加え、ベネズエラ、イランへの攻撃と、その一挙手一投足に世界は翻弄されているかのようです。

世界の動きを左右するアメリカの指導者・大統領の政策や言動。トランプ大統領が突出して見えますが、そのスーパーパワーの核となる大統領という存在を知るための番組をラインアップしました。

1991年、ソビエト連邦が崩壊した直後、アメリカ合衆国は「唯一の超大国」と形容されるようになりました。国際政治学者のフランシス・フクシマの『歴史の終わり』は、東西冷戦は自由主義・民主主義の勝利に終わったとし、ベストセラーとなりました。その自由主義・民主主義の擁護者で、「世界の警察官」となったのが、アメリカ合衆国でした。

21世紀に入ると中国が台頭します。2010年、中国はGDP(国内総生産)で日本を追い越し、世界第2の経済大国となります。2013年にはオバマ大統領は「アメリカは世界の警察官ではない」と宣言します。多くの識者が中国はやがてアメリカと肩を並べるだろうと予測しました。コロナ禍でその差は急速に縮まり、アメリカが「唯一の超大国」と呼ばれることは、もはやなくなりました。社会内部の分断、民主主義の劣化から、アメリカはもはや自由世界、民主主義国家群のリーダーではないという言説も増えています。

しかし、もう少し長いスパンで見てみましょう。二度の世界大戦を経て、世界の4分の1を支配していたイギリスが凋落し、米ソの二極体制が長らく続きましたが、アメリカのドルは世界の基軸通貨となりました。経済規模は今でもナンバー1。ストックホルム国際平和研究所によると2023年、アメリカは世界の総軍事費の37.5%を占め、中国の12.1%を大きく引き離しています。ちなみにロシアは4.5%。日本は2.1%です。ハリウッド映画、アメリカン・ポップス、コカコーラ、マクドナルド…文化的にもアメリカの「ソフトパワー」は健在です。

軍事力・経済力・政治力・文化力で20世紀後半、世界をリードしてきたアメリカ。その指導者は、一般投票と選挙人投票という2段階のプロセスを経て選ばれます。行政のトップであるのはもちろん、外交の最高責任者、世界最強の軍の最高司令官であり、議会に対して拒否権を持つなど、強い権限を握っているのです。

アメリカ大統領の政治理念を知ることは、世界の変化を占う上で極めて重要です。そして歴代のアメリカ大統領を知ることは、世界の現代史を知る基礎教養と言えます。配信している番組の中から、歴代大統領について学べるコンテンツをピックアップしました。歴史と現在と、そして未来を知る手掛かりとなれば幸いです。

映像の世紀 デジタルリマスター版

## 第7集 勝者の世界分割



【ルーズベルト、トルーマン】「世界の支配なんて簡単だ。太平洋はいただく」。アメリカ大統領の言葉だ。イギリス首相とソ連首相と3人で、第二次世界大戦後の世界を分割する密約を結ぶ。その結果、多くの人々が住み慣れた土地を追われ、同じ民族が引き裂かれる悲劇が。そして始まった東西冷戦。お隣の朝鮮半島が南北に分かれている歴史的背景を知ろう。

## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何?  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何?
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

第8集 恐怖の中の平和



【ケネディー】「人類は自らを破滅させる手段の開発にエネルギーを浪費している。世界は2つの陣営に分割され、互いに相手を全滅させる準備を進めている」。ソ連の指導者フルシチョフの言葉だ。彼のミサイル配備計画が起こしたキューバ危機は、人類を核戦争一歩手前まで追い込む。伝説のセックス・シンボル、マリリン・モンローの貴重な映像も。

第9集 ベトナムの衝撃



【ジョンソン】「地獄の黙示録」、「プラトーン」…今なお数々の映画が扱うベトナム戦争。テレビで初めて戦場の生々しい映像が伝えられた。「人々が自由の名において殺されるのを黙って見てはられない」。巻き起こる反戦運動とサブカルチャー。生々しい映像で、民衆が犠牲となったベトナムの惨状と価値観が揺らぐアメリカ社会を描く。

トランプ対バイデン ～2020年アメリカの選択～ 前編



「何事も勝つためにやれ!」。トランプは厳格な父の教えを守り、強引な手法で不動産業で成り上がる。一方バイデンは、吃音を乗り越え、「屈せずにやり抜く」精神で政治家に。しかし家族に悲劇が…。米大統領選を戦った二人の生き立ちと素顔に迫る。

トランプ対バイデン ～2020年 アメリカの選択～ 後編



ライバルを蹴落とし、メディアを操り、大統領に上り詰めたトランプ。ライバルを味方に引き入れ、人々に寄り添うスタイルで支持を集めるバイデン。人種差別、社会の分断、新型コロナ…対照的な二人は、アメリカ社会の問題にどう向き合ってきたのか？

INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何?  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何?
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

# 15. イスラム教って何？

クリスマスを祝い、除夜の鐘を突き、初詣に行く日本人は、フシギの国の住民かもしれません。

文化庁の調査では、各宗教団体から報告された信者の数は総人口の約1.5倍。一方である世論調査では、特定の宗教を信じているという人は1～3割台。???ですね。日本社会では通常どの宗教、どの宗派を信仰しているかはさほど重視されず、結婚式や葬式やお墓の算段にならないと、あまり宗教を意識しないものです。

世界で信者数が多いのはキリスト教、次いでイスラム教、ヒンズー教、そして仏教です。日本人は仏教、キリスト教のことはわかるが、イスラム教についてはほとんど知らないのではないのでしょうか。あるいはイスラム過激派によるテロ事件のニュースに接し、なんとなく近寄りたがたい宗教というイメージを抱く人もいるでしょう。

また、キリスト教とイスラム教は『旧約聖書』を共通の聖典としていることを知っている方でも、両宗教、さらにユダヤ教が同じ源を持ちながら、歴史的にいがみ合い、今日まで緊張関係にある理由は、なかなか理解できないのではないのでしょうか。ユダヤ教の国イスラエルとユダヤ教のパレスティナは共に一神教を奉じながら、前者は神をヤハウェと、後者はアッラーと呼び、戦っているのです。

大航海時代以降、世界各地を植民地とし勢力を伸ばしてきたキリスト教世界。しかし、それ以前は最大の文明はイスラム世界でした。商業が活発で、人頭税を払えば領内の「異民族」の信仰を許すなど、寛容で公正な社会だったとされています。キリスト教社会のいわゆる「暗黒の中世」で途絶えたギリシャ・ローマの文化や科学的な思考を受け継いだのは、イスラム世界でした。

2010年、チュニジアから始まった「アラブの春」は、中近東で長期独裁政権を倒しましたが、曲がりなりにも安定していた社会は揺らぎ、その混乱の中から、イスラム原理主義を踏まえた、IS(イスラミック・ステート)などテロを辞さない勢力も生まれました。

2021年8月、アメリカがアフガニスタンから駐留軍を引き上げると、かつての支配者タリバンが政権を握りました。女性は小学校までしか行けず、社会進出を阻まれています。首都カブールは「東洋のパリ」と呼ばれた時期もありました。いまやアフガンは世界の最貧国の一つです。一見「歴史の逆行」のような事態はなぜ起きたのでしょうか。

2022年9月、イランでヒジャブと言われるヘッドスカーフの付け方が正しくないとして「道徳警察」に拘束された22歳の女性が亡くなると、抗議デモが始まり、SNSで拡散して大規模な反政府デモとなりました。批判の矛先は最高権力者である宗教界のリーダーにも向けられました。一方、女性の行動に厳しい制限があったサウジアラビアでは、女性が自動車を運転したり、スポーツを観戦できるようになり、働く女性が増えました。

中世の繁栄、キリスト教徒の対立と和解、そしてテロを引き起こす過激派組織の背景、行動に規制の多い宗教国家の中での人々の生活の変化…日本人にはなかなか理解しにくいイスラム教について、番組を視聴しながら学んでみましょう。

## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何?  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 **イスラム教って何?**
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

⑥バグダッド 大いなる知恵の都



テロの脅威が続くイラクの首都・バグダッド。かつて「平和の都」と呼ばれ、人口100万の世界最大の街として繁栄を極めた。イスラムの公正さが生み出した広大な商業圏、その中心として輝いた、驚くべき姿！

⑦エルサレム 和平・若き皇帝の決断



キリスト教徒とイスラム教徒による十字軍の戦い。この宗教対立は21世紀の今も続いている。聖地エルサレムを巡る狂乱めいた争奪戦の最中、一滴の血も流さず、交渉によって平和をもたらした若きリーダーの英邁な決断！

フランスで育った“アラーの兵士”



フランス育ちのイスラム教徒のジャーナリスト・サイドは、ネットで知り合ったテロリストグループに命がけで潜入。テロリストの正体は、社会から疎外され、居場所のない若者たちだった。サイドは見知らぬ女性からリーダーからとしてテロ攻撃の指示を受け取る。

アフガニスタンの亡霊



2001年、アメリカを中心とする西側は、民主主義・自由・女性の権利を約束してアフガンに侵攻。4年後、アフガンに入った一人のカナダ人ジャーナリストは、戦争の巻き添えになった市民や拷問されるタリバン兵を目撃。混乱の中、多くの市民が怯えながら生活し、犠牲を強いられてきた実態を探る。

INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何?  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 **イスラム教って何?**
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

# 16. 移民と難民について考えてみよう

2024年、UNHCR・国連難民高等弁務官事務所は、紛争や迫害によって故郷を追われた人は1億2,000万人、これまでで最大の増加で史上最大の数と報告しました。世界の人口は約80億。80人に1人が故郷を離れたのです。イスラエルのガザ侵攻によって、パレスティナ難民は仮の住まいさえ追われ、命を危険に晒しながら、劣悪な避難生活を余儀なくされました。

20世紀は「難民の世紀」と言われましたが、21世紀も「難民の世紀」であり続けています。古来、住み慣れた母国を離れる原因は、戦乱や民族紛争、宗教対立、政治的弾圧などでした。20世紀、新たな要素が加わりました。飢餓と環境問題です。干ばつや洪水によって農作物を失った人々は、もはや自国には住むことができません。その一因は地球温暖化です。海面上昇により、自分の島を離れざるを得ない南太平洋の島民もいます。

意外な要因もありました。冷戦の終結です。1980年代後半まで、東ヨーロッパやソビエト社会主義共和国連邦は、宗教や政治の自由を認めず、民族間・国家間の紛争を許しませんでした。圧政の中に秩序がありました。しかし、15の共和国から構成されていたソビエト連邦が分裂すると、抑圧されていた民族的な憎しみや怒りが爆発し、地域紛争のため、難民が増えたのです。そして2022年、ロシアが、民族的にも言語的にも兄弟のような関係だったウクライナに進攻。現在も全人口4,200万人の4分の1が国内外で避難生活を余儀なくされ、帰還の目処が立っていません。

「難民」と「移民」の区別は難しいところがあります。1951年の「難民条約」では難民は、人種、宗教、国籍もしくは特定の社会集団の構成員であること、または政治的理由によって、迫害を受けるおそれがある者としています。

オーストラリアは航海者クックによって「発見」された後、イギリスの流刑地となり、そして移民大国となった歴史を持っています。アメリカ合衆国も移民大国ですが、両国とも時代により、移民を法的にどう扱うのかは異なってきました。「不法移民」とされた母子の個別ケースを取り扱った海外ドキュメンタリーからは、移民の置かれた立場やアイデンティティの問題を学べるでしょう。

太古より、ヒトはより良い暮らしを求めて、住処を離れてきました。私たちの祖先はアフリカから世界中に広がっていきました。アジア大陸部から東南アジア島嶼部や太平洋の島々へのホモ・サピエンスの移住は、「好奇心」が関わっていたという研究もあります。居住環境に問題がなく、食糧も十分にあるのに、波間の彼方に島影を認めた島民が、船を漕ぎ出していったケースもあったはずで。

ヒトが住み慣れた場所を離れ、国境を越えざるを得ない事態を、そして移動した人々がどんな境遇で暮らしてきて、今、どのように暮らしているのか。いくつかの番組から見てみましょう。

映像の世紀 デジタルリマスター版

## 第10集 民族の悲劇果てしなく



20世紀は「難民の世紀」だった。戦火、民族紛争、宗教対立により行き場を失った人々の悲劇。「汚れた血が流れている者は浄化せねばならない」。憎悪、怨念、恐怖。「難民の父」と呼ばれた男の演説は、難民が増え続ける現在の私たちにも響く。「皆さんにも家族があるでしょう。自分の妻子が飢えて死ぬのを見るのは、どんな気持ちでしょうか」。

## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何?  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何?
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

## 第1集 旅はアフリカから始まった



「仲間」であることを示す装飾具の相次ぐ発見から分かってきたことは、「絆」を確認しあう大切さ。そして、大噴火という逆境が遠く離れた集団との交易を促したことも。「ともに生きる」という人間集団の基本が確立した過程をたどる。

## 第3集 ホモ・サピエンス ついに日本へ!



生誕の地・アフリカから全世界に広がった人類。その繁栄の秘密は「最も到達困難な」日本への道にあった。大海原と極寒の大地が、熱帯生まれのヒトの旅を阻む。ホモ・サピエンスの大拡散を可能にした技術と発明品とは? ヒトの進化の行く末を見すえる。

## ガザに留学した医学生



2025年1月、イスラエルとハマスの停戦が発効した。大規模な軍事攻撃にさらされたパレスチナの町・ガザに留学したイタリア人医学生の体験を等身大の目線で描く。イスラエルのフェンスに封鎖され「天井のない監獄」と言われたガザで、医学を志す留学生は何を感じたのか。イスラエルとハマスの戦闘が起きる前、若者が体験した「ガザでの日々」を追った迫真のドキュメンタリー。

## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何?  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何?
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

# 17 「昭和」を知っていますか

## (1)日本の戦争

「昭和」という時代が始まったのは、1926年12月25日、今から100年前です。

「平成」に元号が改まるまでの64年はまさに激動の時代。

最初の20年は、中国やアメリカ、アジアの国々までと戦う全面戦争に突き進み、敗戦。

荒廃した国土から復興、世界第2位の経済大国に躍進、そしてバブル経済の到来。

政治、社会の仕組みも、国民の生活も、大きな変貌をとげた激動の時代。そして現在の日本社会の礎が作られた時代でもありました。

### (1)日本の戦争

今、日本の人口のうち9割は「戦後」生まれ、皆さんや皆さんの親の世代にとっても、日本の戦争は「生まれる前の遠い昔の出来事」になりました。

しかし、21世紀の今も、世界では戦争が起きています。

日本がなぜ戦争に突き進んだのか。一人一人の国民はそれをどう見ていたのか、そして戦争に加わったのか。このライブラリーでは、戦争の時代を記録した映像をもとに構成された番組、そして太平洋戦争を様々な視点でとらえた番組をラインアップしました。21世紀を生きる皆さんが、日本の「戦争の時代」を知るために、見ていただきたい番組です。

「ドキュメント太平洋戦争」は、太平洋戦争のターニングポイントとなった局面で何があったのかを検証、分析するシリーズです。どんな戦争だったのか、“敗因”は何か？ 日本の戦争の本質を問いかける番組です。「NHK特集 激動の記録」は、昭和15年～20年のニュース(映画館で上映された映像)から厳選した映像記録。証言も交え、戦時下、戦後の日本の姿をリアルに映し出しています。

ラインアップには、「一億特攻」への道」を新たに加えました。敵国の艦船に飛行機ごと体当たりする「特攻」。命を投げ出した若者たちや彼らを「送り出した」日本社会の動きも含め、「戦争」に直面した人々の行動と思いに迫るドキュメンタリーです。「グランパの戦争」は戦勝国・アメリカ人の従軍カメラマンの“孫”が、祖父が体験した戦争・そして日本を、残された写真から見つめ直すプロセスを描いています。80年前の出来事は決して遠い過去の物語ではなく、現代を生きる私たちに今も多くのことを問いかけていることを知ることができると思います。

### NHKスペシャル

#### “一億特攻”への道 ～隊員4000人 生と死の記録～



太平洋戦争中、連合国軍の艦船に体当たり攻撃を行った特攻。戦況が悪化する中、終戦直前まで続けられた作戦で多くの若者たちが戦死した。一方、特攻は日本中を奮い立たせ、それを希望とみなし「一億特攻」が叫ばれた。番組では15年に及ぶ取材で特攻隊員約4000人の本籍地や経歴を徹底調査。地域社会の動きや、軍とメディアによるプロパガンダの中、特攻へと進んでいった隊員たちの生と死を追い、「一億特攻」の真相に迫る。

### INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何?  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何?
- 16 移民と難民について考えてみよう

### 17 「昭和」を知っていますか (1)日本の戦争

- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

## グランパの戦争～従軍写真家が遺した1千枚～



オランダに暮らす写真家のマリアンは、家族が残した“忌まわしい”過去を発見した。祖父、ブルース・エルカスが撮影した太平洋戦争の写真だ。激戦地・硫黄島に並べられたアメリカ兵の遺体や頭髪が残ったままさらされた日本兵の頭蓋骨。敗戦後、占領下の日本に作られた進駐兵向け「慰安施設」も写されていた。公開されることなく残されていた1000枚の写真。終戦から80年を超え、今、私たちに何を問いかけるのか。(番組では、戦争の実態を伝えるため、遺体や性的な映像が流れます)



## NHK特集 激動の記録(日本ニュース)

【5回シリーズ】

昭和15年から20年までの日本ニュース264巻から、歴史の節目、決定的瞬間を厳選し、撮影したカメラマンたちの証言を交え、1979年、このシリーズは制作され、当時戦争体験者や若い世代、教育関係者などから大きな共感をもって迎えられた。現在の若者はこの5本シリーズから曾祖父母・祖父母の世代に日本人が何を体験したのか。やがて高度経済成長を迎える戦後日本の出発点を学ぶことができる。

### NHK特集 激動の記録

#### ①戦時日本 日本ニュース 昭和15～20年



超レアな歴史映像がここに! テレビがない時代、毎週映画館でニュースが上映された。「激動の記録」シリーズは、そのニュース映画を年代別に全5回に分けて再構成。第1部は太平洋戦争。戦場に駆り出される若者たちの「学徒出陣」は名シーンだ。歴史的な事件に立ち会ったカメラマンたちのリアルな証言が、映像により生々しさを加える。

### NHK特集 激動の記録

#### ②終戦前後 日本ニュース 昭和18～20年



第2部は終戦前後。あなたはネットニュースをどこまで信じますか? 映画館で流れるニュース映像では、負け戦は粉飾され、国民は勇ましく決起を呼びかけられた。でも人々はそのフェイクニュースからも真実を鋭く感じ取った。特攻機に乗り込む若者の表情にキミは何を感じるだろうか。

## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何?  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何?
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ



## NHKスペシャル ドキュメント 太平洋戦争 【6回シリーズ】

太平洋戦争のターニングポイントになった戦局から、日本の敗因を分析した6回シリーズ。日本への物資の補給ルート、ガダルカナル戦、マリアナ沖海戦、インパール作戦、レイテ戦、日ソ終戦工作を取り上げながら、教訓に学ばない軍の傲慢さ、責任の所在の曖昧な日本の組織や現地住民を敵に回した結果が引き起こした悲劇などを描いた。戦争という局面に限らず、日本人の弱点や組織論を学ぶことができる。

### NHKスペシャル ドキュメント太平洋戦争

#### ①大日本帝国のアキレス腱 ～太平洋・シーレーン作戦～



日本経済は、原材料や燃料を輸入し製品を輸出して成り立っている。この事情は戦前も同じ。アジアの資源を奪いながら戦争を拡大させた日本。それを支えた輸送船はアメリカの潜水艦に次々と沈められる。穴の空いたバケツで水を運ぶような、惨めな失敗がもたらしたものは。

### NHKスペシャル ドキュメント太平洋戦争

#### ②敵を知らず己を知らず ～ガダルカナル～



ガンバれば勝てる。闘魂が大事…スポ根ではありません。「武器は日本軍にとってはアクセサリ」とアメリカ軍は分析した。どういうこと？日本の研究委員会による「精神力だけでは対抗できない」という提言はどう扱われた？自分を過信し、敵を侮り、学ぶことを忘れる日本陸軍の体質が、数々の悲劇を生み、敗戦へと向わせた。

### NHKスペシャル ドキュメント太平洋戦争

#### ③エレクトロニクスが戦を制す ～マリアナ・サイパン～



戦争には科学技術の戦い、新兵器の開発競争という局面がある。太平洋戦争当時、日本には優れた科学者がいながら、その力を生かせなかったのはなぜか？アメリカのレーダーに捕捉された日本軍機は次々と撃ち落とされた。攻撃優先だった軍部の方針は、安全や環境を優先させない戦後の企業のあり方に繋がってはいないか。

### NHKスペシャル ドキュメント太平洋戦争

#### ④責任なき戦場 ～ビルマ・インパール～



「この作戦は危険すぎる」「しっかり準備したから大丈夫です」「そこまでいうならやってみるか」。政治的な思惑や野心から行われた戦いで3万人以上の兵士が死んだ。誰か責任を取ったのか？冷静で客観的な少数意見は無視され、言った本人は窓際に。それうちの部活の、会社の話じゃんとしたあなた、必見です。

## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何?  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何?
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

## ⑤ 踏みにじられた南の島 ～レイテ・フィリピン～



占領したアジアの国々で日本語や日本の価値観を押し付けたらどうなる？ 反日感情からゲリラが生まれたが、日本軍はゲリラと市民が区別できず、無差別に殺害。さらに反日は強まる。太平洋戦争は日米の利益争奪戦だった。その後アメリカはベトナムでこの舞を演じる。アジアは二頭の象の争いで踏みつぶされた蟻なのだろうか。

## ⑥ 一億玉砕への道 ～日ソ終戦工作～



敗色濃い日本は和平への望みを仮想敵国だったソビエトに託す。しかし、ソ連は日本に参戦する密約を英米と交わしていた。ソ連は捕虜とした日本人60万人を強制労働させた。愚かな選択はなぜ？ 日本は世界情勢を分析するのが不得意？ 外交力が弱い？ 終り方を考えずに始めた戦争の悲劇を知ろう。

## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何？
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何？  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何？
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

# 18 「昭和」を知っていますか

## (2) 戦後の経済成長

日本は80年以上にわたって戦争の無い、世界でもまれな“平和”な国です。

昭和20年から、敗戦国・日本は、焼け跡からの再建に始まり、世界第2位の経済大国にまで成長を果たします。奇跡的ともいえる高度経済成長の時代を経て、安定成長、そしてバブル経済とその崩壊へ。「昭和」の時代が生んだ日本の経済成長の“光と影”、その軌跡を知ってください。

ライブラリーでは、敗戦・廃墟からの復興を目指す日本の姿を捉えた「激動の記録」、そして戦後の日本経済の成長の背後にある物語を読み解く「欲望の経済史・日本戦後編」をラインアップしました。さらに経済成長を支えた様々な製品やプロジェクトと、その陰にあったドラマを伝える「プロジェクトX」を加えました。

バブル崩壊後の「失われた20年」に生まれた皆さんには想像できないような「右肩上がり」の時代があったこと、そしてその成長を支えた人々の姿。番組の視聴を通じて、豊かさとは？ 成長とは？ 働く意味とは？

現代を生きる皆さんにとっても、新たなヒントや発見があるはずです。



### NHK特集 激動の記録(日本ニュース)

【5回シリーズ】

昭和15年から20年までの日本ニュース264巻から、歴史の節目、決定的瞬間を厳選し、撮影したカメラマンたちの証言を交え、1979年、このシリーズは制作され、当時戦争体験者や若い世代、教育関係者などから大きな共感をもって迎えられた。現在の若者はこの5本シリーズから曾祖母・祖母の世代に日本人が何を経験したのか。やがて高度経済成長を迎える戦後日本の出発点を学ぶことができる。

#### NHK特集 激動の記録

### ③占領時代 日本ニュース 昭和21～23年



激動の世紀 第3部は占領時代。甲子園に野球が戻ってきた！戦争一色だったニュース映画の中身はガラリと変わり、政治、スポーツ、災害、犯罪など様々な題材を扱うように。浮浪者、外地からの引揚者、戦争未亡人…価値基準が一変し混乱する中、たくましく生き抜く日本人たちの姿。

#### NHK特集 激動の記録

### ④復興途上 日本ニュース 昭和23～25年



第4部は復興途上。外国軍に占領された中、国民は食料不足やインフレに苦しんだ。殺人や麻薬といった犯罪が増加。不審な事件・事故も相次ぎ、日本全体に流れる不穏な空気が…。一方、30分ごとに挙式のある式場、繁盛する結婚紹介所、プラカードをかついで集団見合いへデモ行進する若者たち…そんな世相も描かれている。

## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何?  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何?
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

⑤ 講和前夜 日本ニュース 昭和25～26年



第5部は講和前夜。朝鮮戦争が特需景気をもたらした。平和憲法を持つ日本に自衛隊の前身である警察予備隊が作られ、共産党が弾圧された。「戦争に負けて外交に勝つ」とは当時の吉田首相の言葉。日本はサンフランシスコ講和条約で国際世界に復帰するとともに、アメリカと安全保障条約を結ぶ。



シリーズ 欲望の経済史

日本戦後編

【6回シリーズ】

焼け跡から立ち上がり復興に向けてひた走り、短期間で豊かさを実現した日本の戦後。財閥解体、農地改革、傾斜生産方式、ドッジライン、高度経済成長、バブル…さまざまなトピックスがあったが、その背後にあった物語とは。案内役の野口悠紀雄(元大蔵官僚・経済学者)と聞き手の坂井豊貴(経済学者)のトークと、各時代の証言者の声から、戦後日本経済の光と影を再考する。



シリーズ欲望の経済史 日本戦後編

① 焼け跡に残った戦時体制 終戦～50年代



戦前と戦後を分けるのではなく、1940年代と捉えるべきだと野口は説く。政府が重点産業に集中して補助金を出した戦時経済体制は、戦後の復興をも支えた。太宰治が影響を受け、社会を根底から変えた「農地改革」とは？緊縮財政、朝鮮戦争による特需…紆余曲折を経ながら、焼け跡の未来は明るかった。

シリーズ欲望の経済史 日本戦後編

② 奇跡の高度成長の裏で 60年代



ボーナスが年4回！働くことで豊かになりモノがあふれた時代。テレビや自家用車、新卒一括採用、東京一極集中…今も続く日常生活や日本型企業スタイルはこの時に始まった。その裏で広がる地域格差、若者たちのカウンターカルチャー。ソニー創業者の一人・盛田昭夫が鳴らした警鐘とは？GNP世界2位となった豊かな日本を待ち構えていたものとは？

シリーズ欲望の経済史 日本戦後編

③ 繁栄の光と影が交錯する 70年代



三島由紀夫の割腹自殺・大阪万博で幕を開けた1970年代。ありあまる金で田中角栄は格差是正を図り、福祉を充実させた。それは果たして正しい選択だったのか？オイルショックで高度経済成長に急ブレーキがかかり、公害問題に苦しんだ日本だったが、省エネ技術を発展させ、モノ作り大国として安定成長期を迎える。

INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何？
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何？  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何？
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

### ④ ジャパン・アズ・ナンバーワンの夢 80年代



お金を得るには働かなくてはならないという価値観が揺らいた時代があった。バブル景気に沸く80年代である。生活必需品を手に入れた人々はブランドものを漁り、ディスコに押しかけ、地価が高騰した。バブルの引き金となった国際会議とは？バブルの本質とは？「ジャパン・アズ・ナンバーワン」と日本型経営が称えられた時代は、昭和の終わりからまもなく終わる。

### ⑤ 崩壊 失われた羅針盤 90年代z



就職が難しいのは今だけではない。バブル崩壊で繁栄は終わり、阪神淡路大震災や地下鉄サリン事件が追い打ちをかけ、「就職氷河期」がやってきた。「失われた20年」という長いトンネルへと突入したのは、日本が世界のルールの変化に気づけなかったから？一方、携帯電話やパソコンが普及し、情報化社会が到来。人々の考え方が大きく変わっていった。

### 執念が生んだ新幹線 ～老友90歳・飛行機が姿を変えた～



東京-大阪間7時間半を3時間へ。旧陸海軍の3人の技術者による新幹線プロジェクト。流線形フォルム、衝撃吸収バネ、自動停止装置。戦争で培った技術を平和のために役立てたい！世界最速を目指した男たちの知られざる物語。

### 突破せよ 最強特許網 新コピー機 誕生



「何事もやってみれば天職かもしれない」。キヤノンの特許マンの言葉だ。国産コピー機誕生の裏には、難攻不落のアメリカ特許網を破った伝説の逆転劇があった！一つの模倣も許されない。完全オリジナル技術のコピー機を生み出した方法とは？

### 日米逆転！コンビニを作った素人たち



日本のコンビニ誕生秘話！窓際の部署にいた30代サラリーマンが、アメリカで見つけたビジネスチャンスだったが、足元をみられ屈辱的な契約へ。もう後戻りは許されない。どん底の経営状況の中、15人の素人集団が起こした常識破りの流通革命とは？

## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何？
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何？  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何？
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

## ガンを探し出せ



ガン治療の最善策は早期発見、胃の中を直接見ることができれば…。世界初の胃カメラを完成させた男たちの物語。外科医・カメラ技術者・電球職人たち20～30代の若いチームが、実現不可能と言われたわずか数ミリの闘いへ。

## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何?  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何?
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

# 19. 無名の挑戦者たち

NHKの「プロジェクトX 挑戦者たち」は2000年から2005年まで放送され、大きな反響を呼びました。

名もなき日本人を主人公に、新製品の研究開発、社会的事件、巨大プロジェクトなどに焦点を当て、その成功の陰にあった知られざるドラマを伝える、組織と群像の物語です。戦後日本の発展を支えたプロたちのたゆまない努力と葛藤。胃カメラ開発・緊急医療チームと、医学や看護を学ぶ方々に見て欲しい2本も提供しています。なお、2024年から「新プロジェクトX ～挑戦者たち～」が放送されています。

後続の「プロフェッショナル 仕事の流儀」は、2006年から放送が始まり、今も「旬の仕事人たちが」次々に登場する番組です。時代の最前線で活躍するその道のプロを取りあげ、彼らがどのように発想し、斬新な仕事をどう切り開くのかを、徹底した現場密着ドキュメントで描いています。

焼け跡から復興を遂げ、高度経済成長を支えた、市井の人々の物語。そして高いプロ意識を持ち、難題に挑む人々の物語。人口の減少や少子高齢化で、ともすると明るい未来を描くことのできない、若いみなさんに、困難に立ち向かう勇気と挑戦への気概を与えてくれるのではないのでしょうか。

## プロジェクトX 挑戦者たち

### 海のダイヤ 世界初クロマグロ完全養殖



32年の苦闘！昭和40年代、マグロ人気が高まったが漁獲量が頭打ちに。立ち上がったのは近畿大学・水産研究所の“魚飼い”たち。ふ化～産卵のサイクル全てを人工飼育！共食い、謎の衝突死、台風襲来…。「魚と共に生きる」男たちの前代未聞の挑戦を追う。

## プロジェクトX 挑戦者たち

### 国産コンピューター ゼロからの大逆転 日本技術界 伝説のドラマ



「挑戦者に無理という言葉はない」「発想した時が勝負」。今回の主人公、“Mr.コンピューター”の言葉だ。コンピューター市場を制するものは世界を制す。巨大企業IBMに挑む富士通の伝説的ドラマ。

## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
  - 2 フロンティア=最前線に立つ
  - 3 映像はウソをつく!?
  - 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
  - 5 気候変動について学ぼう
  - 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
  - 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何？
  - 8 人体の不思議を学ぼう
  - 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
  - 10 数理の好奇心を極める
  - 11 「お金」って何？  
「資本主義」ってどうよ
  - 12 揺らぐ「民主主義」
  - 13 世界秩序と「グローバル化」
  - 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
  - 15 イスラム教って何？
  - 16 移民と難民について考えてみよう
  - 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
  - 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち**
- 20 患者に寄り添う「医」の心
  - 21 自分自身を見つめる
  - 22 恋に悩む若者たちよ

## 日米逆転! コンビニを作った素人たち



日本のコンビニ誕生秘話! 窓際の部署にいた30代サラリーマンが、アメリカで見つけたビジネスチャンスだったが、足元をみられ屈辱的な契約へ。もう後戻りは許されない。どん底の経営状況の中、15人の素人集団が起こした常識破りの流通革命とは?

## ガンを探し出せ



ガン治療の最善策は早期発見、胃の中を直接見ることができれば…。世界初の胃カメラを完成させた男たちの物語。外科医・カメラ技術者・電球職人たち20~30代の若いチームが、実現不可能と言われたわずか数ミリの闘いへ。

## 地下鉄サリン 救急医療チーム 最後の決断



東京を襲った毒ガスによるテロ。「患者は全て受け入れる!」。院長の号令の元、医師たちが総力戦で治療に挑む。目が見えない、全身が震える。原因不明の症状を前に、救急医が下した究極の決断とは?

## 執念が生んだ新幹線 ~老友90歳・飛行機が姿を変えた~



東京-大阪間7時間半を3時間へ。旧陸海軍の3人の技術者による新幹線プロジェクト。流線形フォルム、衝撃吸収バネ、自動停止装置。戦争で培った技術を平和のために役立てたい! 世界最速を目指した男たちの知られざる物語。

## 中学校教師 鹿嶋真弓



「情熱がまず第一条件。そこに技がなくちゃ」。「女金八」と呼ばれる熱血教師と教え子たちの絆のドラマ。生徒同士で話し合う「エンカウンター」と呼ばれる教育法を駆使し、クラスのつながりを作る。受験の重圧に揺れる生徒たちに対し、彼女が打った最後の一手とは?

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何?  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何?
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長

### 19 無名の挑戦者たち

- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

小学校教師 菊池省三



「自信が人を伸ばす」。ディベート、スピーチ、ほめ言葉のシャワー…型破りな授業が子どもたちを変えていく。「伸びたい」気持ちが芽生えた子どもたちの背中を押し、困難を乗り越えられる人間を育てる。進化するため常に今を変えていく、すぐ腕教師の姿を追う。

WHO医師 進藤奈邦子



「危険の芽は小さいうちに握りつぶす」。トルコで発生した過去最大の鳥インフルエンザ。最悪のケースでは数百万人の死者も。現地の病院の医師たちは言葉や文化の違いから患者の情報をすぐには教えてくれない。ここが人類の防波堤。進藤の情熱が現地の医師の心を突き動かす。危険な最前線でパンデミックを食い止める闘いに密着。

INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何?  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何?
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

# 20. 患者に寄り添う「医」の心

日本人の2人に一人がかかるとされるがん。

また、65歳以上の高齢者のうち3人に1人は、認知機能に関わる症状がある（認知症、認知症の前段階）とされています。そしてコロナ禍の中、誰もが医療の大切さを思い知らされました。

誰もが数々の「病」と向き合って生きる現代、「医」の在り方が変わりつつあります。医師、看護師、そして患者が、いかに病と医療に向き合っているのか。その現場で取材した番組をラインアップしました。

自分も家族も患者となった時に何を感じるか。医学や看護を志す皆さんにも、是非ご覧いただきたい番組群です。

## NHKスペシャル

### 認知症の第一人者が認知症になった



認知症と診断された時、人はどんな気持ちになるのか。物忘れが進み、徐々に進む症状と向き合う間、どんな思いを抱くのだろうか。長年認知症医療に取り組んだ専門医が、自らの認知症と向き合う姿を見つめたドキュメンタリー。誰もが認知症になり得る時代、認知症を知り、認知症と生きてゆくために、自らの認知症を語る言葉に耳を傾けよう。

## TVシンポジウム

### がんと生きる長い旅 治療・暮らし・人生(準備中)



日本人の2人に1人は何らかのがんになるといわれる。医療の進歩で“治るがん”が増えた一方、治療が長期間に及ぶこともあり、がん診断後の暮らしは“長い旅”に例えられる。副作用や後遺症、仕事や家庭での悩みなど、“長い旅”の中の苦しみにどう向き合うのか。治療の最前線に立つ医師とがん患者として発信を続ける4人が語り合う。カルテ開示など医療の側からの新しい動きも。

## プロフェSSIONAL 仕事の流儀

### がん看護専門看護師 田村恵子



「心残さず、生ききる」。終末期のがん患者を支える看護のスペシャリストが、娘の結婚式を見届けたいと願う患者とその家族のため、出した答えとは？ ホスピス、その命の現場に迫る！

## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何？
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何？  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何？
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

プロフェッショナル 仕事の流儀  
リハビリ医 酒向正春



「リハビリは人生の再出発。それをサポートするのが私たちの医療」。40歳を過ぎて脳神経外科医からリハビリ医へ異色の転身。その思いとは？ どんなに困難なケースでも諦めずに、脳卒中患者の脳に残された可能性を引き出す。目指すのは「人間回復」だ。

プロフェッショナル 仕事の流儀  
呼吸器外科医 伊達洋至



他の病院で治療が難しいと言われ、ワラをもつかむ思いで訪ねてくる患者に、笑顔で向き合う。数々の難手術を成功させてきたが「手術は、恐ろしい」と出勤前にはお寺で手を合わせて成功を祈る。特殊な肺移植に挑むが、母親が提供する肺が6歳の少女の小さな胸に入るのか。家族と医師、絆のドラマに密着。

プロフェッショナル 仕事の流儀  
整形外科医 杉本和隆



日本人の5人に1人が抱えるというヒザの痛み。人工関節移植の第一人者で、日本人の体格や生活習慣にあった人工関節の開発を進める杉本。従来の半分程度の切開という新手法で、ほとんどの患者が3週間ほどで再び歩けるまでに回復し退院する。手術は成功したものの、痛みを訴える患者。歩く喜びを取り戻すべく再手術に挑むが…。

プロフェッショナル 仕事の流儀  
肝臓外科医 高山忠利



腕は一流。しかし怖がりで心配性。それゆえ、通常縛る必要のない血管まで縛り、出血をとことん抑える。血の塊と言われる肝臓の手術の第一人者は「手術はいつも不安」と語り慎重で丁寧、かつあえて複雑な方法で執刀する。「細心に、仕事を全うして、途中で決して妥協せず、患者さんの利益を守る」。

プロフェッショナル 仕事の流儀  
WHO医師 進藤奈邦子



「危険の芽は小さいうちに握りつぶす」。トルコで発生した過去最大の鳥インフルエンザ。最悪のケースでは数百万人の死者も。現地の病院の医師たちは言葉や文化の違いから患者の情報をすぐには教えてくれない。ここが人類の防波堤。進藤の情熱が現地の医師の心を突き動かす。危険な最前線でパンデミックを食い止める闘いに密着。

INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何?  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何?
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち

20 患者に寄り添う「医」の心

- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ



痛みや不調を改善するとされる鍼(はり)やお灸(きゅう)の「ツボ」。最近、全身の免疫機能に及ぼす驚きのメカニズムが明らかになってきた。アフリカで広がる結核患者の免疫機能アップのために「足三里」のツボを刺激するケアなど、世界的にも注目が集まっている。漢方薬の分野でも、腸内細菌の働きを介して腸の免疫機能を高めるメカニズムが明らかに。東洋医学と近代医学を融合させ未来の医療を模索する取り組みも始まっている。

## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何?  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何?
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心**
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

# 21. 自分自身を見つめる

ヒトの知的営為には、自分たちを取り囲むさまざまな事象がなぜ起きるのかを探ろうとする方向と、社会の一員である自分自身の心の中を探ろうとする方向があるようです。後者は宗教、道徳、哲学、文学と呼ばれます。「汝自身を知れ」とは古代ギリシャの格言で、西洋思想の中核を占める重要な概念です。

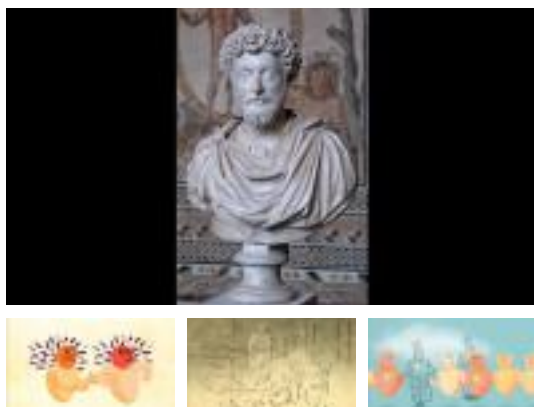
ローマ皇帝だったマルクス・アウレリウス・アントニウスは帝国の繁栄にかげりが見え始める中、戦場を駆け巡り、野営のテントの中で「君が求めるものは何だ」と自分自身に問いかけながら、折々の思いを綴りました。厳しい競争社会の中で、自分自身を見失いがちな現在。「自分の内を見よ。内にこそ善の泉がある」と説く哲人皇帝の声に、耳を傾けてみましょう。

ドイツの哲学者エマニュエル・カントは、近代科学が確立し、人間の理性が称えられる時代に、自然法則と同様に、絶対不変の道徳法則、誰しものが従うべき普遍的なルールがあるはずだと考えました。「私は何を知ることができるのか」を突き詰めて考えた主著『純粋理性批判』は教養人の必読書と言われながら、難解で読み通した方は少ないのではないのでしょうか。でも大丈夫。「100分de名著」を視聴して、やさしくかみ砕いたカント哲学の本質に触れてみてください。

チェコ・プラハのユダヤ人家庭に生まれたフランツ・カフカは、主人公がある日目覚めると一匹の虫になっていたという不条理極まりない設定で、ヒトの心の中、家族や社会と個人のかかわりをえぐりだして見せました。短い小説ですのでサクッと読み通すこともできますが、「100分de名著」では、暗く、かつ、おかしいこの小説の、深い読み方を伝授します。

オーストリアの心理学者アルフレッド・アドラーは「幸福とは何か」「いかに人は生きるべきか」と問いかけ続けました。人の悩みは対人関係にあるとし、「嫌われる勇気」をもつことも必要だと解きました。

「100分de名著」で取り上げた哲人皇帝、哲学者、文学者、心理学者による名著を、自分自身を見つめるよすがとしてください。



## 100分de名著 マルクス・アウレリウス『自省録』

【4回シリーズ】

ローマ皇帝だったマルクス・アウレリウスが自分自身に語りかけるように綴った名著を、本当の幸福とは何か、困難とどう向き合うか、死とは何か、といった普遍的なテーマに沿って読み解き、人生をより豊かに生きる糧としてください。

## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何?  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何?
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

## マルクス・アウレリウス『自省録』 (1)自分の「内」を見よ



厳しい競争社会の中で、自分自身を見失いがちな現在。「自分の内を見よ。内にこそ善の泉がある」と説く哲人皇帝の声に耳を傾けてみよう。

## マルクス・アウレリウス『自省録』 (2)「他者」と共生する



異民族の侵略や同胞の裏切りにもかかわらず、マルクス・アウレリウスは「寛容」を説き続けます。多民族国家を統治する知恵であるとともに、「すべての人間は普遍的理性を持つ限り、みな等しい同胞だ」とするコスモポリタン主義からでした。憎しみや対立を超え、寛容に生きる方法を学ぼう。

## マルクス・アウレリウス『自省録』 (3)「困難」と向き合う



戦乱、疫病、妻子の死…自らにふりかかった困難にどう立ち向かえばよいのか。「それを気高く耐えることが幸福である」。自分ではどうすることもできない困難を運命として愛し、自分の意志で動かせることに誠実に取り組みと説きます。肉親の死は避け難い。誰もがそれを乗り越えてきたから、おまえにもできる。賢帝の教えです。

## マルクス・アウレリウス『自省録』 (4)「今、ここ」を生きる



戦乱のただ中において、相次ぐ肉親の死にあったアウレリウスは「死とは何か」を思索し続けます。死を恐れず「一日一日をその日が最期の日であるかのように」誠実に生きよと勧めます。過去を悔いても甲斐はなし、未来は分からない。つかのまの今、ここを生きよう。生きづらい時代を生きる君たちに、普遍的な真理を語りかける名著を！



## 100分de名著

## カフカ『変身』

【4回シリーズ】

老いた両親と妹を養っているセールスマンが、ある日目覚めると虫に変身していた。カフカはサラリーマンだったが、外に働きに行くのは大の苦手。虫になった主人公は作者の出世拒否願望の現れか。世間や家族のシガラミから自由になりたい あなたも虫かも。



## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何?  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何?
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

## カフカ『変身』 (2)前に進む勇気が出ない



「仕事が嫌いだ」「ずっと引きこもっていたい」。繊細すぎて決断力のなかったカフカ。虫になった主人公は毎日寝て過ごし、壁や天井をはい回って遊ぶ日々を送る。家族を養う重圧や働く義務から解放されたら、ホッとするのだろうか。退避願望って、誰にでもあることでは。

## カント『純粋理性批判』 (4)自由と道徳を基礎づける



理性の限界を突き詰めると「神の存在」や「魂の不滅」は証明できないこととなります。科学が幅をきかせ、価値や自由などが居場所を失くしつつある中、カントは新しい道徳の復権を説きました。知識や科学だけでは解決できない「人間的価値や自由の世界」を見つめてみよう。



## 100分de名著

## アドラー『人生の意味の心理学』

[4回シリーズ]

フロイトやユングと並んで心理学の三大巨頭と呼ばれるアルフレッド・アドラー。「幸福とは何なのか」「いかに人は生きるべきか」と問いかけ続けた。その心理学を、日本で広めた岸見一郎さんをゲスト講師に迎え、楽しい寸劇を交えて分かりやすく学んでいこう。

## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何?  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何?
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

# 22. 恋に悩む若者たちよ

「Every dog has its day.」ということわざが英語にあります。

誰にでも絶頂期はあるという意味ですが、では、生物としてのヒトの絶頂期はいつでしょう。みなさんの世代です。20代半ばに体力も生殖力もピークを迎えます。もっとも、最新の研究では大脳の発達が完成するのは30前後という研究もありますが、この絶頂期に、生き物はつがいを見つけ子孫を残します。

しかし、ヒトの場合、この絶頂期は危うい時期でもあります。皆さんの世代で一番多い死因は実は自殺です。この世代では、恋愛に悩んで命を絶つケースはあとを絶ちません。また失恋がきっかけとなって重篤な病になることもあります。甘美で、そして、辛く悲しいのが恋愛。その恋愛を科学の目で見てみましょう。

人間社会のなかでは男女差別というと、大抵の場合、男性優位で女性が様々な困難に合うことですが、実は最新の生物学・生物行動学では、男性は劣位なのです。性染色体で見ると男性はXY、女性はXXです。そして、Y染色体は消えつつあるという学説があります。いつ消えてしまうのか、数週間後かもしれないし、数千万年後かもしれないと専門家は言います。実はオスは付け足しの性で、メスだけでも子孫を残す種はたくさんいます。

「恋愛の賞味期限は3年」という説には多くの人が頷くと思います。ドーパミンという脳内物質が恋の情熱を支えています。最近の脳科学は熱情も沈着冷静さも物質に還元してしまいます。ドーパミンは長期間にわたって放出されるわけではなく、激しく燃えるような思いは長続きしません。しかしその後、子育てという共同プロジェクトをへて、安定したパートナーシップへと移行していきます。ほかの動物に比べ、赤ちゃんが一人前になるには長い時間がかかり、子育てを長期にわたって行わなくてはならないからです。

近年、人類社会では様々な恋愛の形が許容されるようになり、結婚しないことや子供を作らないことも、選択肢の一つとして認められるようになってきました。そして、男女の出会いの形も大きく変わりつつあります。お見合いを含め、周りがおぜん立てするケースは減り、社内恋愛が歓迎されないようになり、婚活パーティーといった新たな出会いの場が設けられるようになりました。コロナで男女が知り合う機会は減ってしまい、出会いの機会を作るアプリが次々と生まれ、さらにメタバースの世界で出会うシステムさえ作られています。

そして遠く1000年を超す昔、平安時代の恋愛事情にも触れてみてください。2025年度から、「源氏物語」「伊勢物語」を読み解く「100分de名著」をラインアップしました。光源氏と在原業平を通して描かれる恋の物語を、わかりやすい解説で感じてください。

番組を視聴して、恋愛を科学したり哲学したりしても、出会いの機会は増えないし、悩みや痛みが消えるわけでもありませんが、自分自身を客観的に見つめる手掛かりになるかもしれません。

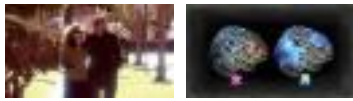
## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何?  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何?
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ



## NHKスペシャル 女と男 最新科学が読み解く性 【3回シリーズ】

男女はなぜ惹かれ合うのか、最新の脳科学は「恋」のメカニズムを解明しつつある。脳内物質ドーパミンが支える恋愛の「賞味期間」は3年ほど。子育て協力者から人生の伴侶へと変化していく男女関係を描く。



### NHKスペシャル 女と男 最新科学が読み解く性 第1回 惹かれ合う二人 すれ違う二人



恋愛の賞味期限は3年!? どうすれば長続きするのか? 女性が悩みを相談するのは話を聞いて欲しいだけなのに、男は解決策を示そうとしてしまう。恋愛の正体は脳内物質ドーパミン!? 男女の違いは長い狩猟最終生活の名残り!? 「子育て協力者」から「人生のパートナー」へと変わる男女関係の“いま”を描く。

### NHKスペシャル 女と男 最新科学が読み解く性 第2回 何が違う? なぜ違う?



地図の見方って男女で違うよね。男は空間感覚を生かし、女は記憶や目印を手がかりに地図を見る。脳が違うのは男女それぞれが得意なことをしてきたからだ。狩猟採取をしていた人類の祖先は、飢えと戦う中で、役割分担をして食糧を確保する道を探ってきた。医療や教育で性差に注目する潮流が生まれている。

### NHKスペシャル 女と男 最新科学が読み解く性 第3回 男が消える? 人類も消える?



男を作るY染色体は減りつつある! この性染色体を運ぶ精子も劣化している! 一夫一婦性が長く続いたためだという。性システムの危機にどう対応すべきなのか。「試験官ベイビー」に始まった生殖技術の最前線もたどりながら、性の揺らぎのさまざまな影響を追う。

### BS1スペシャル 欲望の時代の哲学 ～マルクス・ガブリエル日本に行く～



「今、幸せを感じなければ、幸せは訪れない」、「恋は探している時にしか見つからない」、「皆スマホの効率性に追いつめられている。」哲学界のロックスター”ことマルクス・ガブリエルが独自の視点で日本人を語る。モノの見方は一つじゃない。自由に考えることこそ最上の価値。「哲学」の入り口をのぞいてみよう。

## INDEX

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何?  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何?
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ

## アドラー『人生の意味の心理学』 第2回 自分を苦しめているものの正体



なぜ私たちは「自分が好きになれない」劣等感を抱くの  
 だろうか。アドラーは「他人に拒絶されるくらいなら最初  
 から関わらない方がマシ」と考え、「人間関係に傷つかな  
 い」ことを選んだ結果だとする。そして、それを転換し、自  
 分自身の成長のバネにすることを提唱する。自分を苦し  
 めているものの正体を探り、乗り越える方法を学ぼう。

## 紫式部『源氏物語』 第2回 あきらめる女 あきらめない女



シンデレラのように「玉の輿」に乗れたとしても、幸せとは  
 限らない。嫉妬に狂う年上のインテリ女、幼い頃に無理  
 やり連れ去られ、愛されながらも子を持たない女…光源  
 氏に愛されたさまざまな境遇の女たちは、すべては手  
 に入られず、葛藤を抱えながら何かを諦めて生きている。  
 女性にとって諦めの意味とは？

## 紫式部『源氏物語』 第4回 夢を見られない若者たち



光源氏の死後の「宇治十帖」は、恵まれた環境で育った  
 草食系貴公子たち(光源氏の子と孫)と、宇治に暮らす3  
 人の姫君たちが織りなす悲恋の物語。恋に苦しみ入水自  
 殺を図った浮舟は、一見か弱く見えながら、しっかりと自  
 我を見つめ、作者・紫式部が自己を投影させたとも言わ  
 れる。現代の恋愛事情との共通点を探っていこう。

## 伊勢物語 第2回 愛の教科書、恋の指南書



天皇の后となる高貴な姫との駆け落ち。神に仕える斎宮  
 とのタブーをいとわぬ禁断の恋。業平が繰り広げた数々  
 の恋愛の物語を「愛の教科書」「恋の指南書」として読み  
 解いてみよう。自分の恋情ではなく、相手の話に耳を傾  
 け、相手の幸せを願う業平は、軽薄なだけのプレーボー  
 イではありません。

- 1 AIとロボットが変える世界
- 2 フロンティア=最前線に立つ
- 3 映像はウソをつく!?
- 4 SNSの功罪  
溢れる「情報」 失われる何か
- 5 気候変動について学ぼう
- 6 地球に生きる者たち  
ワイルドライフ
- 7 生命の「進化」を考えよう  
「ヒト」って何?
- 8 人体の不思議を学ぼう
- 9 コロナ・伝染病と  
人類について考えよう
- 10 数理の好奇心を極める
- 11 「お金」って何?  
「資本主義」ってどうよ
- 12 揺らぐ「民主主義」
- 13 世界秩序と「グローバル化」
- 14 スーパーパワー  
アメリカの大統領たち
- 15 イスラム教って何?
- 16 移民と難民について考えてみよう
- 17 「昭和」を知っていますか  
(1)日本の戦争
- 18 「昭和」を知っていますか  
(2)戦後の経済成長
- 19 無名の挑戦者たち
- 20 患者に寄り添う「医」の心
- 21 自分自身を見つめる
- 22 恋に悩む若者たちよ